

第 11 回
万引に関する全国青少年意識調査
分析報告書

平成 28 年 6 月

調査：特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構
協力：文部科学省・警察庁

ごあいさつ

ここに平成 27 年度に実施した「第 11 回 万引に関する全国青少年意識調査」に関する報告書をお届けします。

平成 17 年度に始まったこの調査も 11 年目を迎えました。「青少年の万引」に注目し、毎年 1 万人以上を対象にして、これほど長期にわたって実施されている本調査は、世界的にも例を見ない貴重な意識調査となっています。

この調査は、アンケートにお答えいただいた全国の小・中・高の児童・生徒の皆さんを初め、文部科学省初等中等教育局児童生徒課及び各都道府県教育委員会等教育関係者、警察庁生活安全局少年課、特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構の会員各位及び分析・編集を担当いただいた北海道大学名誉教授瀧川哲夫様、北海道大学・桜美林大学名誉教授坂井昭宏様のご協力によるものです。ここに深くお礼を申し上げます。

青少年の万引は減少してきているとはいえ、青少年の犯罪のなかでは最も多い状態です。このことを認識して、青少年の将来を見据えながらの対応が求められています。

これまでの報告書で指摘されてきたように、誰しも「万引は不正な犯罪であるという規範知識」はあると思われるのですが、「万引はしないという規範意識」が欠如していることです。この規範意識を育み、具現化するためには内面からの動機づけが必要不可欠であります。本人自らが進んで社会規範の重要性和必要性を考え行動する機会を活用するように、家庭教育、教育現場、地域社会のなかで、大人たちが働きかけ続けることが肝要であると考えます。

この報告書が、大人が何をしないといけないのかを考える一助となることを希求します。特に近年、高齢者の万引犯罪が増え続けていますが、そうした風潮への警鐘となればと思います。

平成 28 年 6 月
特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構
理事長 竹 花 豊

目 次

本調査のねらい	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法と特徴	1
3. 調査項目	2
4. 結果整理のポイント	3
 第1章 小学生・中学生・高校生共通の質問	 4
1-1. 万引に対する自分の考え（小中高の間1）	4
1-2. 万引を他の逸脱行為と比べる（小中高の間2）	6
1-3. 万引をしてはいけない理由（小中高の間3）	10
1-4. 万引をする理由（小中高の間4）	11
1-5. 万引に誘われた経験の有無（小中高の間5）	12
1-6. 万引に誘われたときの対処（小中高の間6）	13
1-7. 日頃の保護者の対応（小の間7、中高の間10）	14
1-8. 万引をしなくなるための対策（小の間8、中高の間12）	15
 第2章 中学生・高校生のみへの質問	 16
2-1. 店員として万引を目撃した場合の対応（中高の間7）	16
2-2. 万引しやすい店を知っているか（中高の間8）	17
2-3. 万引しやすい店の種類（中高の間8-1）	18
2-4. 店は警察に通報すべきか（中高の間9）	18
2-5. 店は警察に通報すべきと思わない理由（中高の間9-1）	19
2-6. 万引後の保護者と子どもの対応（中高の間11）	20
2-7. 効果的だと思う店舗の万引対策（中高の間13）	21
2-8. 効果的だと思う学校・警察の万引対策（中高の間14）	22
 第3章 社会的絆の強弱と回答選択との関係	 23
3-1. 社会的絆に関する質問（小の間9、中高の間15）	24
3-2. 万引に対する自分の考え（小中高の間1）	29
3-3. 万引と他の逸脱行為との比較（小中高の間2）	30
3-4. 万引をしてはいけない理由（小中高の間3）	32
3-5. 万引をする理由（小中高の間4）	32
3-6. 万引に誘われた経験の有無（小中高の間5）	33

3－7．万引に誘われたときの対処（小中高の間6）	33
3－8．日頃の保護者の対応（小の間7、中高の間10）	34
3－9．万引をしなくなるための対策（小の間8、中高の間12）	34
3－10．店員として万引を目撃した場合の対応（中高の間7）	35
3－11．万引しやすい店を知っているか（中高の間8）	35
3－12．店は警察に通報すべきか（中高の間9）	36
3－13．店は警察に通報すべきと思わない理由（中高の間9－1）	36
3－14．万引後の保護者と子どもの対応（中高の間11）	37
3－15．効果的だと思う店舗の万引対策（中高の間13）	37
3－16．効果的だと思う学校・警察の万引対策（中高の間14）	38
まとめ	39
回答分布の変化	39
社会的絆の強弱による違い	40
質問紙調査票	41
〈万引についての全国青少年意識調査・小学生用〉	42
〈万引についての全国青少年意識調査・中高生用〉	45
集計表	50
小学生・中学生・高校生への共通質問 集計表	51
中学生・高校生のみへの共通質問 集計表	67
全国・東京都 万引統計 平成27年	72
あとがき	74

本調査のねらい

1. 調査の目的

本調査の目的は「万引犯罪に対する青少年の意識を全国統一の調査票によって把握することによって、年代別・男女別・地域別分析等の基礎データを得るとともに、行政・警察当局の防犯施策、青少年団体、街の防犯ボランティア活動に資すること」（「第1回調査結果・分析報告書」）である。

本調査はもっとも日常的な犯罪である万引を軸にして、より一般的に、思春期を過ごしている小学生から高校生までの児童・生徒が社会的逸脱行為をどのように考えているかを知ることのできる貴重な資料の提供を目指している。生徒・児童の考えを知することは、家庭や学校、そして地域で青少年をサポートしているわれわれ大人が持つておくべき基本的知識と言えるであろう。

2. 調査の方法と特徴

本調査は質問紙法に基づくアンケート調査である。調査対象校のサンプリングには「全国学校総覧 2015 年版」を台帳として、全国の小学校、中学校、高等学校の中から都道府県別に小中高各 47 校、合計 141 校を無差別に抽出し、各学校の教室単位に調査票を配布した。

調査の依頼にあたっては、あらかじめ調査票送付のほぼ 10 日前までに、趣意書・調査票サンプル・参考資料等を全対象校に送付して予告を行った。同時に、各都道府県教育委員会には、文部科学省より調査の趣旨・目的等の通知をしていただき、調査に対する協力を依頼した。調査期間は平成 27 年 12 月から平成 28 年 2 月末までであった。

調査対象者	対象校	回答予定者数	回答校	回収数	回収率
小学校 5 年	47 校	2,350 名	41 校	2,245 票	95.5%
中学校 2 年	47 校	4,700 名	43 校	4,394 票	93.5%
高等学校 2 年	47 校	4,700 名	43 校	4,558 票	97.0%
計	141 校	11,750 名	127 校	11,197 票	95.3%

送付された調査票セットは、担任教員により、教室内で対象児童生徒に配布された。調査票は無記名で、回答後は回答者自身が回収用の封筒に入れ、糊付けして担任に提出した。

提出された調査票入りの封筒は教室内でまとめ、返送用パックに入れて、そのまま本機構宛返送してもらった。総回収数は 11,197 票、回答予定者数からの回収率は 95.3% である。ただし、回収数・回収率については、回答予定者数が小学校は各校 50 名、中学校・高校は各校 100 名であったが、添付した予備票（各校 20 票）やコピーも使って回答した学校が複数あったため、回収数は回答校数の予定者数よりも多くなっている。回答校数から言えば、小学校は 41/47（=87.2%）、中学校・高校は 43/47（=91.5%）となる。

本調査の回収率は全体として極めて高い。各教育委員会および各学校のご協力の賜である。関係者のご厚意に心からの感謝の意を表明しておきたい。

これまで 11 回の調査での回収校数ならびに回収票数は次の通りとなっている。第 3、4 回は配布校数のみで回収校数が記録されていないので、(47) と表記した。常に、小中高合わせて 1 万 1 千名以上からの回答を得ている。

		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回
回収校数	小学校	46	44	(47)	(47)	42	43	42	41	41	42	41
	中学校	44	43	(47)	(47)	42	43	44	41	45	42	43
	高等学校	41	45	(47)	(47)	42	43	45	47	44	44	43
回収票数	小学生	2,641	2,501	2,692	2,572	2,345	2,499	2,502	2,334	2,238	2,308	2,245
	中学生	4,502	4,318	4,434	4,332	4,365	4,387	4,597	4,218	4,787	4,371	4,394
	高校生	4,290	4,518	4,995	4,279	4,386	4,272	4,692	4,971	4,845	4,646	4,558
	合計人数	11,433	11,337	12,121	11,183	11,096	11,158	11,791	11,523	11,870	11,325	11,197

本調査の回答は各都道府県の地域別に得られているものの、地域別回答者は各都道府県に在住する青少年の意識を代表しているわけではない。調査票の配布が各都道府県で、小学校、中学校、高等学校の協力校各 1 校に限られるからである。また、各校（都道府県）当たりの回収数にそれなりの差がある。小学校では最多 72 票—最少 29 票、中学校では最多 141 票—最少 75 票、高校では最多 119 票—最少 71 票となっている。

これら制約条件はあるが、本調査は、小学生から中学生、高校生に至る年齢（学年）を軸とした思春期の青少年が万引という犯罪行為をどのように判断しているかを眺める貴重な資料と言えよう。

3. 調査項目

今回は第 11 回調査となる。第 8 回調査で質問数を精選し、「生活満足度」の判断項目を取り入れた。今回は過去 3 回の「生活満足度」の質問を、アメリカの社会学者トラヴィス・ハーシらの提案する「社会的絆理論（ボンド理論）」の観点で再構成した。社会的絆の項目設定については、第 3 章に詳述した。他はほぼ昨年通りの調査項目となっている。すべて単一回答選択方式である。

以下に質問項目の内容を並べる。このうち、(小中高) とあるのは、小学生・中学生・高校生に共通の質問であり、(中高) とあるのは、中学生と高校生のみへの質問である。調査票での質問項目の順番は必ずしも以下の順ではない。

- ① (小中高) 万引についてどのように考えているか
- ② (小中高) 万引と他の逸脱行為との比較—第 8 回調査から修正追加

- ③ (小中高) 万引をしてはいけない理由は何か―第 8 回調査から追加
- ④ (小中高) 子どもが万引をする理由は何か
- ⑤ (小中高) 万引に誘われたことがあるか
- ⑥ (小中高) 万引に誘われたらどうするか―第 6 回調査から追加
- ⑦ (小中高) 万引をさせないための保護者の接し方―第 8 回調査から追加
- ⑧ (小中高) 子どもが万引をしなくなるためにはどうしたらよいか
- ⑨ (中高) アルバイト店員として、子どもの万引を目撃したらどうするか
―第 7 回調査から追加
- ⑩ (中高) 万引しやすい店を知っているか―第 7 回調査から追加
- ⑪ (中高) 万引をした子どもを捕まえた店は警察に通報すべきか
- ⑫ (中高) 万引をした子どもや保護者はどのような償いをすべきか
- ⑬ (中高) 万引をさせないための店の取り組みを知っているか
- ⑭ (中高) 万引をさせないための学校や警察の取り組みを知っているか
- ⑮ (小中高) 「社会的絆」に関わる 6 項目―今回から追加

今回の調査で、昨年からの変更部分は次の通りである。(質問や回答選択肢の表現をわかりやすく改めた点を省く)

- ① (小中高の間 1) 回答選択肢数を 3 から 5 に拡大
- ② (小の間 7、中高の間 10) 選択肢 4 を「善悪について話す」に変更
- ③ (中高の間 7) 選択肢 3 に「小さな声で」を追加
- ④ (小の間 9、中高の間 15) 「社会的絆」、「自尊感情」に変更

4. 結果整理のポイント

本報告書では、データの解釈については読者にお任せするという立場から、可能なかぎり余計な解釈を加えずに、集計結果のグラフ表示を中心にまとめた。グラフに表示した元データはすべて巻末の集計表に掲載した。グラフでは男女を合計しているが、集計表には男女別のデータを記載した。

本調査報告書の章立は、社会的絆の分析を除いて、質問紙の質問の順序で構成した。

第 1 章では、小学生・中学生・高校生に対する共通の質問をまとめた。全体に過去 3 年の調査結果と同じ傾向が見られる。

第 2 章では、中学生・高校生のみに対する質問をまとめた。この章でも、全体に過去 3 年の調査結果と同じ傾向が見られる。

第 3 章では、小学生・中学生・高校生に対する共通の質問のうち、今回から設けた「社会的絆の強さ」に関する質問項目の回答パターンと、その他の質問項目とのクロス表の分析をまとめた。

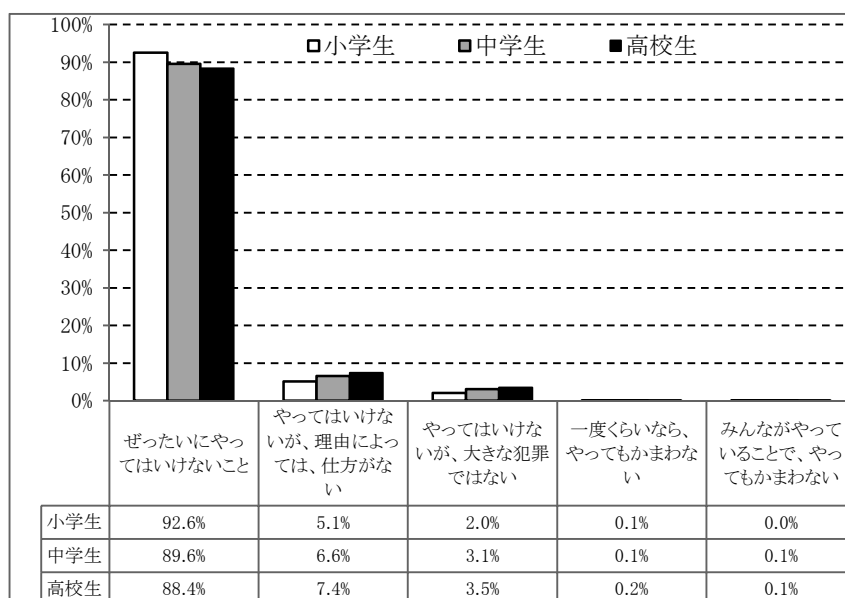
第1章 小学生・中学生・高校生共通の質問

第1章では、万引に対する意識・態度について、小学生・中学生・高校生に対する共通の質問項目の結果を記す。同じく小中高に共通の質問項目「社会的絆の強さ」については、第3章でまとめた。なお、以下の質問ならびに回答選択肢は中高生用の表現を用いている。小学生用の質問と回答選択肢の表現については、後掲の調査票を参照のこと。

1-1. 万引に対する自分の考え（小中高の間1）

小中高の間1. 万引についてあなたはどのように考えていますか。あなたの気持ちに一番近いものをひとつだけ選んでください。

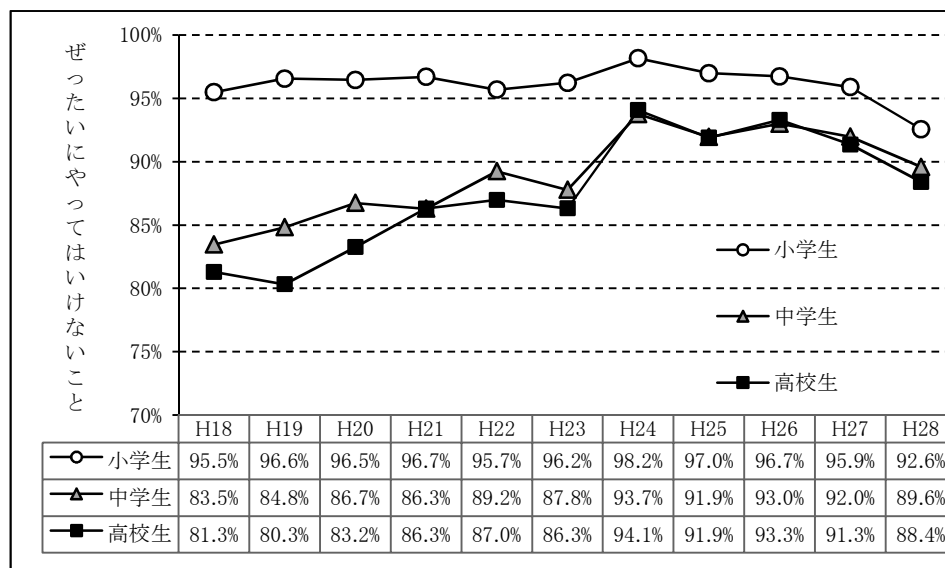
1. ぜったいにやってはいけないこと
2. やってはいけないが、理由によっては、仕方がない
3. やってはいけないが、大きな犯罪ではない
4. 一度くらいなら、やってもかまわない
5. みんながやっていることで、やってもかまわない



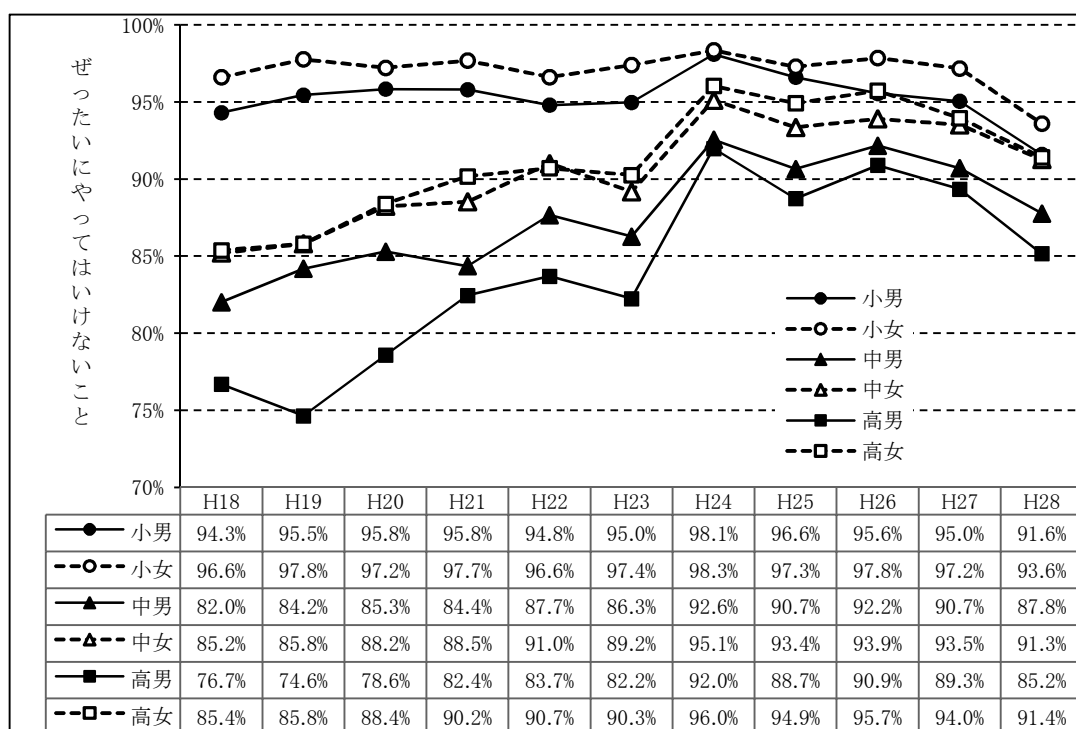
万引に対する基本的な態度の質問である。昨年までは「1. ぜったいにやってはいけないこと、2. やってはいけないことだが、そんなに大きな問題ではない、3. よくあることで、とくに問題ではない」という3選択肢であったが、2と3を細かく区別してみた。結果として、1が少し減少し、2の回答に移っているようである。新しく挿入した「やってはいけないが、理由によっては、仕方がない」は学年にともなって増加している。

この質問は調査初期から続けていることから、「ぜったいにやってはいけないこと」への回答率の経年変化グラフを次に示す。今回の比率が昨年より減少しているのは、回答選択

肢数を増やした結果と考えられる。しかし、平成 24 年をピークとして、それ以降「ぜったいにやってはいけないこと」を選ぶ比率が減少傾向にあるように見える。



男女別では次のようになっている。常に女子が男子より高く、学年に応じて差が大きくなっている。男女ともに平成 24 年がピークとなっているようである。

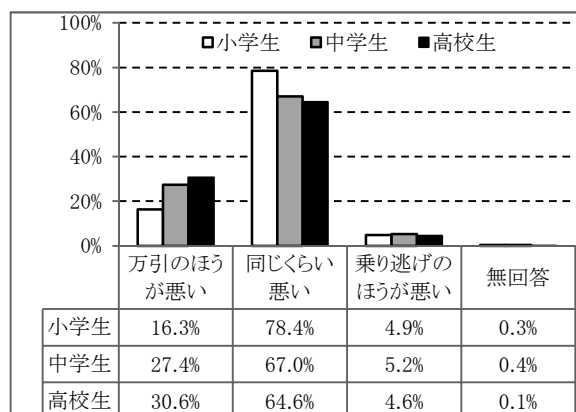


1－2．万引を他の逸脱行為と比べる（小中高の間2）

小中高の間2．万引と他のことと比べると、どちらが悪いと思いますか。次の問2－1～6で、それぞれ1～3からひとつだけえらんでください。

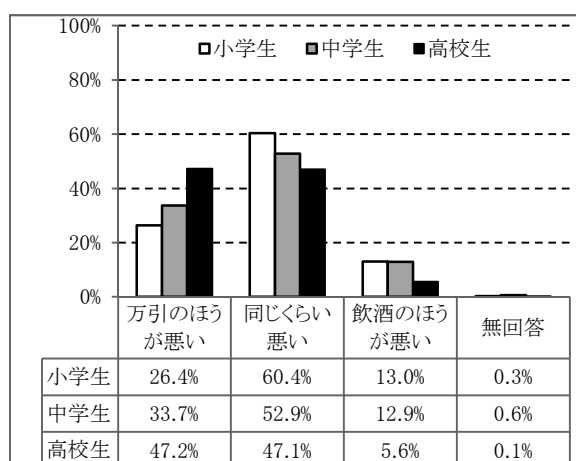
問2－1．万引と、放置自転車の乗り逃げを比べると

- 1．万引のほうが悪い
- 2．同じくらい悪い
- 3．乗り逃げのほうが悪い



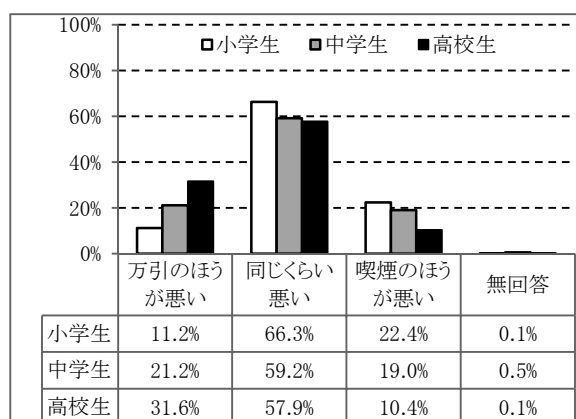
問2－2．万引と、未成年者の飲酒を比べると

- 1．万引のほうが悪い
- 2．同じくらい悪い
- 3．飲酒のほうが悪い



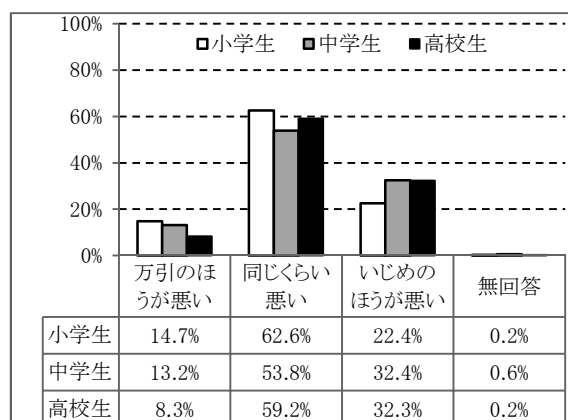
問2－3．万引と、未成年者の喫煙を比べると

- 1．万引のほうが悪い
- 2．同じくらい悪い
- 3．喫煙のほうが悪い



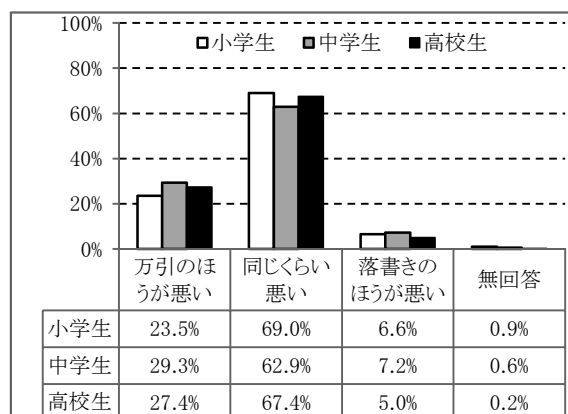
問２－４．万引と、いじめを比べると

- １．万引のほうが悪い
- ２．同じくらい悪い
- ３．いじめのほうが悪い



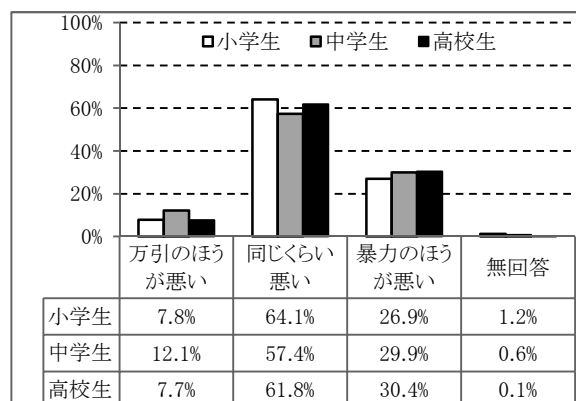
問２－５．万引と公共の建物の壁や塀に落書をするを比べると

- １．万引のほうが悪い
- ２．同じくらい悪い
- ３．落書きのほうが悪い



問２－６．万引と、人に暴力をふるうことを比べると

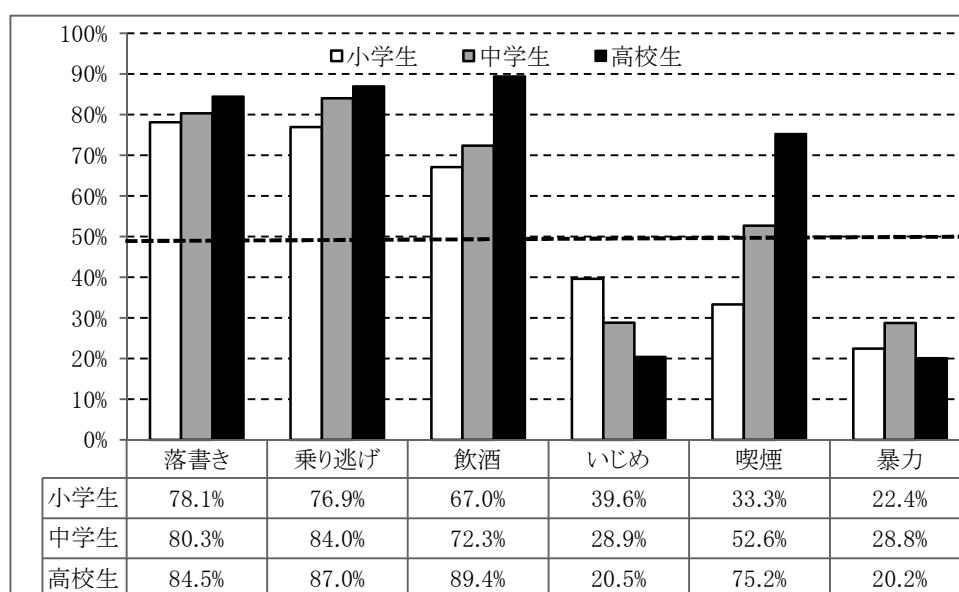
- １．万引のほうが悪い
- ２．同じくらい悪い
- ３．暴力のほうが悪い



以上の回答では、すべての比較において「同じくらい悪い」が過半数を占めている。そのことに留意した上で、万引と他の逸脱行動との比較の指標として、指標（％）＝（万引のほうが悪い）／（万引のほうが悪い＋他のほうが悪い）という比を採用した。この指標

は 50%のときに両方が同じくらい、50%より大きくなれば、万引のほうが悪い、50%より小さくなれば、もう一方のほうが悪い、と評価されているとみなすことができる。

下のグラフはその指標を小学生の値の順に並べ替えて示した。太い点線は 50%で、万引の位置を示すと想定している。落書き、自転車の乗り逃げ、飲酒は小中高すべてで万引のほうが悪いとする率が高い。逆に、いじめと暴力は小中高すべてで万引より悪いとする率が高い。喫煙が比較の転換点となっており、小学生は万引より悪いとする率が高いが、中学生・高校生は万引のほうが悪いとする率が高くなっている。



このグラフから、逸脱行為の悪い順の評価として次のような順序が見える。

小学生：暴力＞喫煙＞いじめ＞万引＞飲酒＞乗り逃げ≒落書き

中学生：暴力≒いじめ＞万引≒喫煙＞飲酒＞落書き＞乗り逃げ

高校生：暴力≒いじめ＞万引＞喫煙＞落書き≒乗り逃げ≒飲酒

この相対的位置づけは、昨年（第 10 回）の調査では次のようであった。

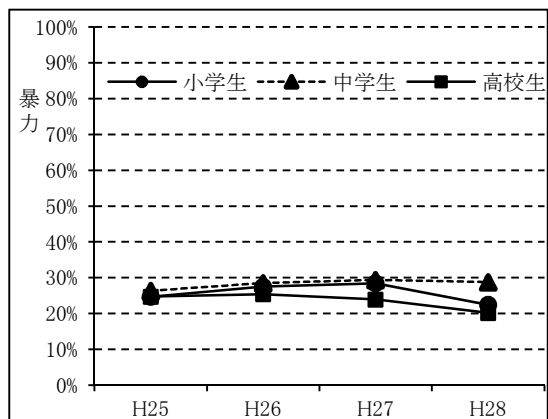
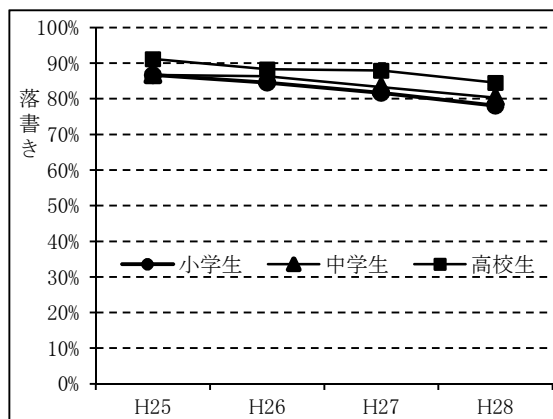
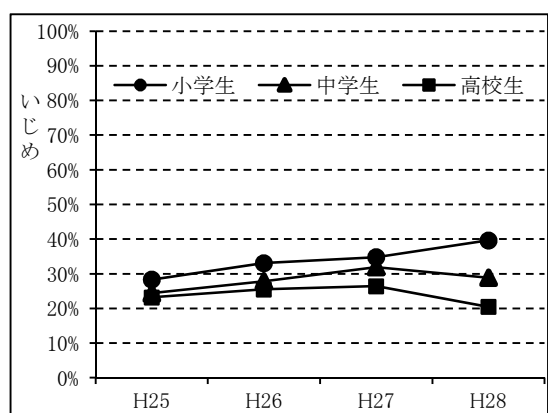
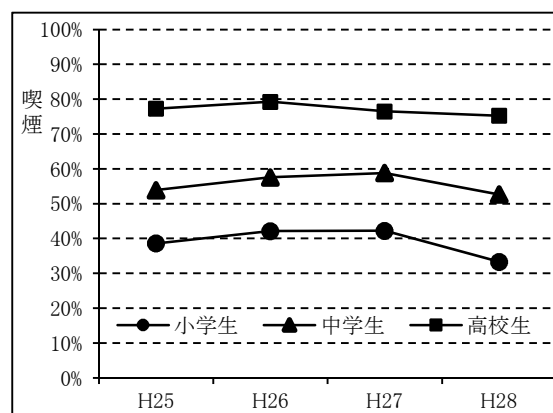
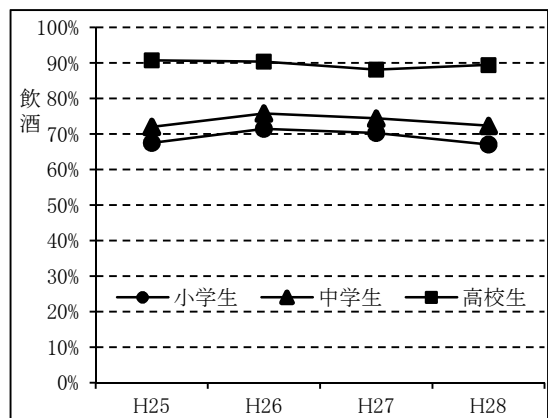
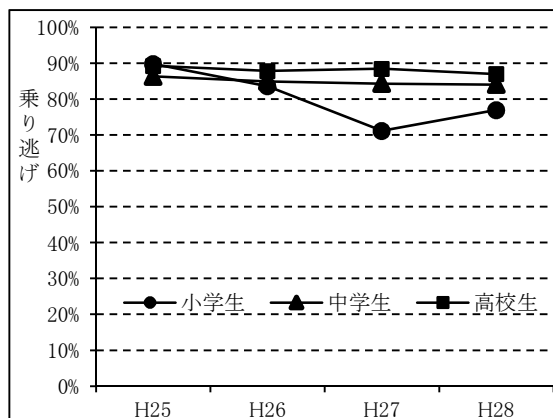
小学生：暴力＞いじめ＞喫煙＞万引＞飲酒≒乗り逃げ＞落書き

中学生：暴力＞いじめ＞万引＞喫煙＞飲酒＞落書き≒乗り逃げ

高校生：暴力＞いじめ＞万引＞喫煙＞飲酒≒乗り逃げ≒落書き

昨年（第 10 回）と全体の傾向は同じであるが、今回は小学生で「喫煙」の順序が「いじめ」よりも悪い方向に変化している。これは「いじめ」との比較で「万引のほうが悪い」選択比率が高かったとも言える。また、高校生で「飲酒」が僅差で最下位となった。

この質問は第 8 回から継続していることから、これまでの変化を眺めることができる。次ページに同じ指標（50%で万引と同じ、それより高ければ万引のほうが悪い、低ければ万引より悪い）で、4 年間の推移をグラフで示した。



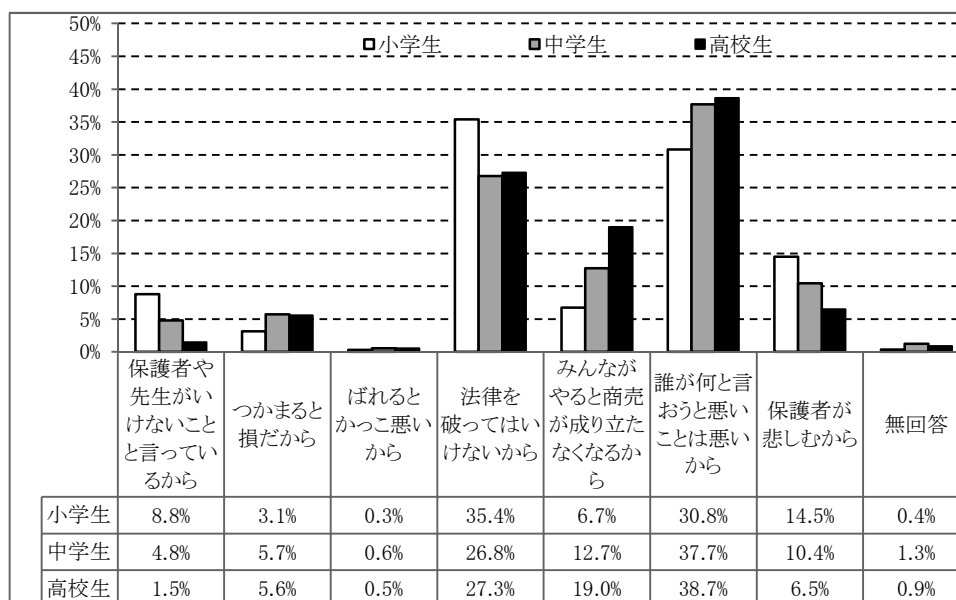
4年間で大きな変化は見られないが、今回、「いじめ」で小学生は上昇（いじめのほうが悪いとする率の減少）、中高は下降（いじめのほうが悪いとする率の増加）している。

「喫煙」は常に小中高の差が大きく平行しており、学年にともなって、悪くない方向に変化している。「乗り逃げ」、「落書き」、「暴力」は小中高で差が小さい。「落書き」は徐々に下降（落書きのほうが悪いとする率の上昇）しているように見える。

1－3．万引をしてはいけない理由（小中高の間3）

小中高の間3．万引をしてはいけない理由として、あなたが一番もつともだと思う理由をひとつだけ選んでください。

- 1．保護者や先生がいけないことと言っているから
- 2．つかまると損だから
- 3．ばれるとカッコ悪いから
- 4．法律を破ってはいけないから
- 5．みんながやると商売が成り立たなくなるから
- 6．誰が何と言おうと悪いことは悪いから
- 7．保護者が悲しむから

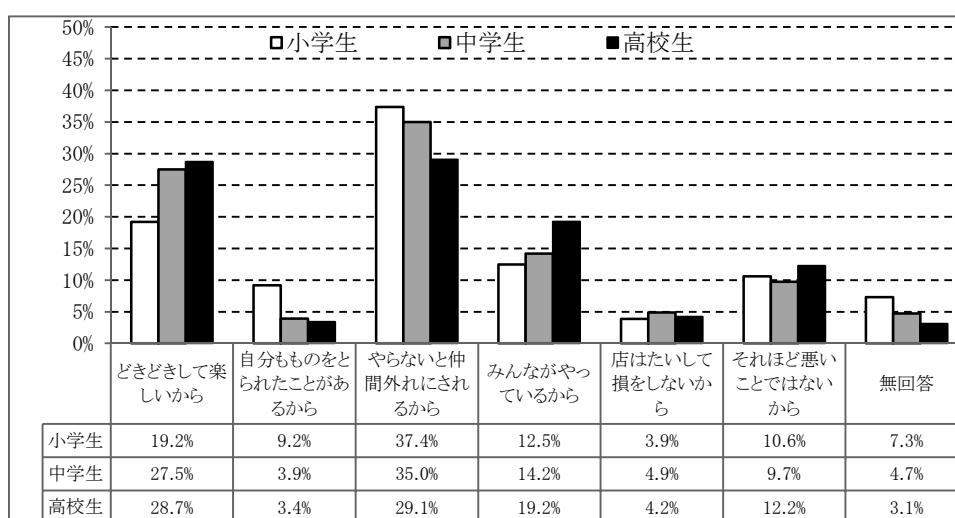


「誰が何と言おうと悪いことは悪いから」と「法律を破ってはいけないから」が全学年で多いのは昨年と同じである。「保護者や先生がいけないことと言っているから」、「保護者が悲しむから」が学年に応じて減少する一方で、「みんながやると商売が成り立たなくなるから」、「誰が何と言おうと悪いことは悪いから」が学年に応じて上昇している。

1－4．万引をする理由（小中高の間4）

小中高の間4．子どもが万引をするのはなぜだと思いますか。ひとつだけ選んでください。

- 1．どきどきして楽しいから
- 2．自分もものをとられたことがあるから
- 3．やらないと仲間外れにされるから
- 4．みんながやっているから
- 5．店はたいして損をしないから
- 6．それほど悪いことではないから



学年に応じて減っていく回答「やらないと仲間外れにされるから」と、逆に学年に応じて増える「どきどきして楽しいから」が多い。「みんながやっているから」も学年に応じて増えている。「それほど悪いことではないから」も10%以上の回答となっている。

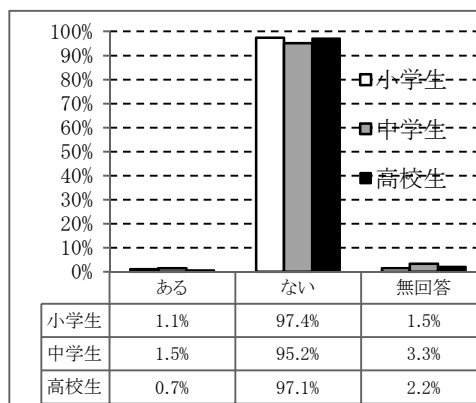
なお、これは回答者が「万引をする子ども」の気持ちを推測している回答であることに留意すべきである。

1－5．万引に誘われた経験の有無（小中高の間5）

小中高の間5．この1年の間に、あなたは万引をしようと誘われたことがありますか。

- 1．ある 2．ない

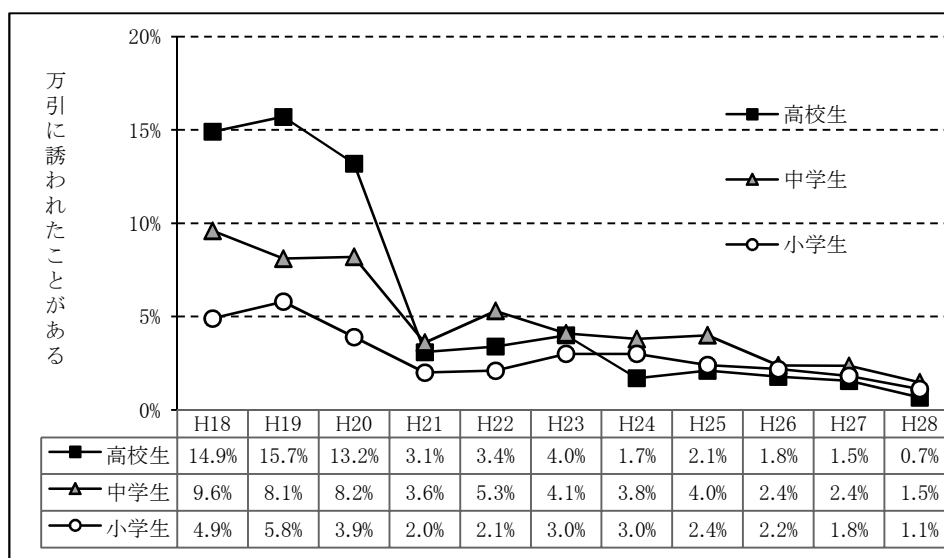
誘われたことがあると回答した率は、これまでの結果と比べて低い。昨年は小学生 1.8%、中学生 2.4%、高校生 1.5%で、下のグラフにあるように、過去数年間はその程度で推移していたが、今回は半減に近い。



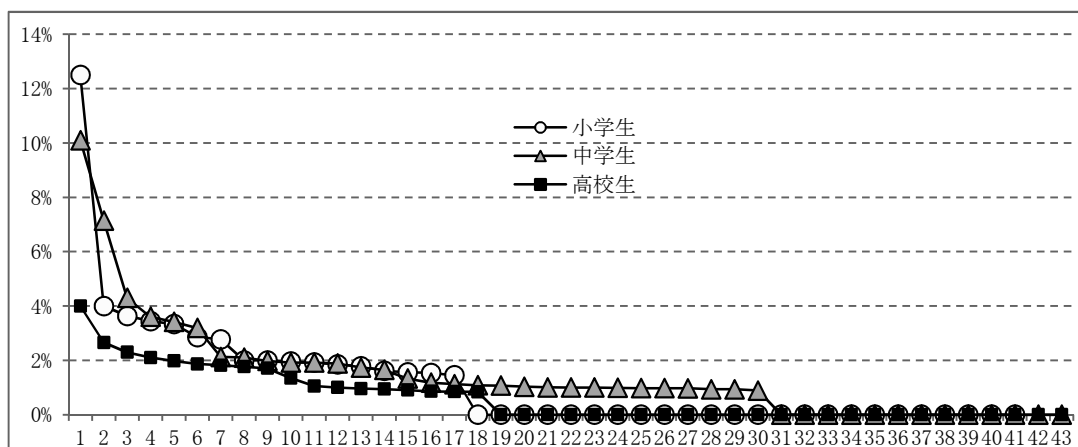
この質問も本調査の初期から継続していることから、「万引への誘いがあった」の回答選択率の経年変化を次ページのグラフで示す。

経年変化のグラフで、平成 20 年までは「この 1 年の間に」と入っていなかったが、平成 21 年からは、この 1 年の間に誘われたことがあるか否かの回答となっている。

経年変化では、たとえば、平成 21 年の小学生は平成 24 年の中学生、平成 27 年の高校生に対応するが、中学生で増加し、高校生で下降する変化傾向が見られ、今回は最低となった。



次に、万引に誘われたことが「ある」と答えた者の割合について地域別データを見ておこう。次のグラフは、調査票が回収できた 43 地域の学校別に「ある」の比率の高い順に左から並べたものである。



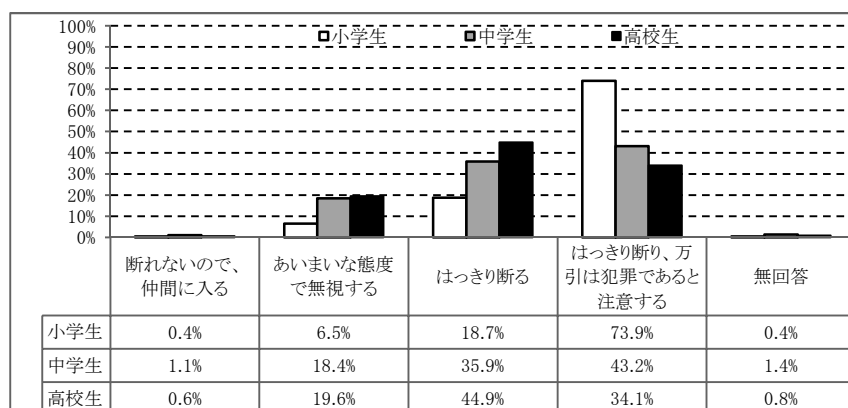
最多は小学生 12.5%、中学生 10.0%、高校生 4.0%で、昨年（最多は小学生 10.2%、中学生 10.4%、高校生 6.5%）と大きな違いはないが、中央値は小学生 0.0%、中学生 1.0%、高校生 0.0%（昨年の中央値は小学生 1.8%、中学生 2.4%、高校生 0.9%）となっており、今回は「誘われたことがない」と回答した地域（学校）が多いと言える。

なお、このデータは都道府県別の代表値ではなく、毎回、調査対象となった学校所在地域での特徴と考えられる。

1-6. 万引に誘われたときの対処（小中高の間6）

小中高の間6. 友達から万引をしようと誘われたら、あなたはどのようにしますか。
あなたの気持ちに一番近いものを、ひとつだけ選んでください。

1. 友達の誘いは断れないので、仲間に入る
2. 友達の誘いをあいまいな態度で無視する
3. 友達の誘いははっきり断る
4. 友達の誘いははっきり断り、万引は犯罪であると注意する

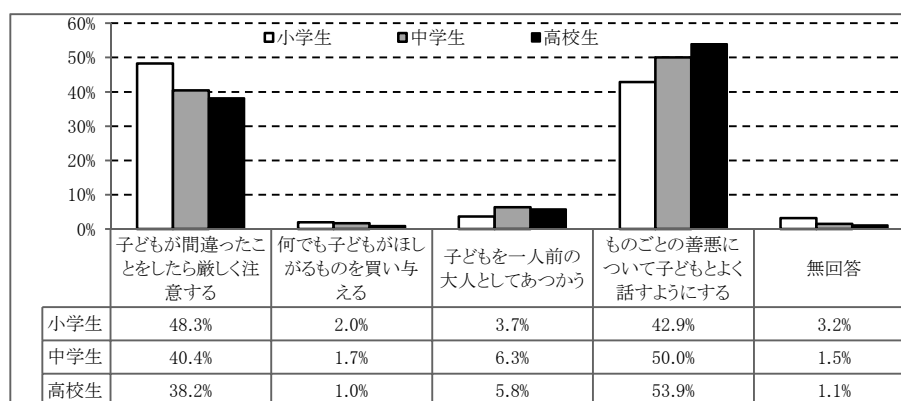


これまでの結果と同様に、「友達の誘いははっきり断る」が学年に応じて上昇し、「友達の誘いははっきり断り、万引は犯罪であると注意する」は小学生で多いが、中高での低下が著しい。

1－7．日頃の保護者の対応（小の間7、中高の間10）

小の間7、中高の間10. 保護者は子どもが万引などの犯罪行為をしないようにするために、子供とどのように接すればいいと思いますか。ひとつだけ選んでください。

1. 子どもが間違っことをしたら厳しく注意する
2. 何でも子どもがほしがるものを買って与える
3. 子どもを一人前の大人としてあつかう
4. ものごとの善悪について子どもとよく話すようにする



「ものごとの善悪について子どもとよく話すようにする」が多く、学年にともなって増加している。「子どもが間違っことをしたらすぐに注意する」も多いが、学年にともなって減少している。

この質問の回答選択肢は昨年から少し変更している。昨年は、

1. 子どもが間違っことをしたらすぐに注意する
2. 何でも子どもの言うとおりにする
3. 子どもを大人として対等に扱う
4. 子どもとよく話すようにする

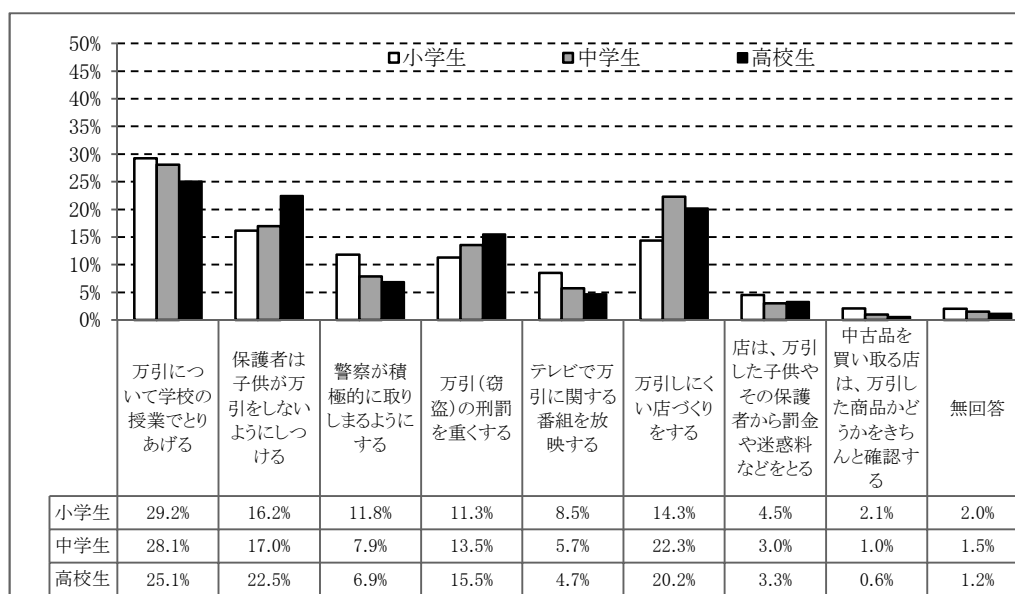
であり、分布はほぼ同じ（1と4が多い）であるが、学年にともなった増減が明確になっている。

1－8．万引をしなくなるための対策（小の間8、中高の間12）

小の間8、中高の間12. あなたは子どもが万引をしなくなるためにはどうすればいいと思いますか。もっとも効果があると思えることをひとつだけ選んでください。

1. 万引について学校の授業でとりあげる
2. 保護者は子どもが万引をしないようにしつける
3. 警察が積極的に取り締まるようにする
4. 万引（窃盗）の刑罰を重くする
5. テレビで万引に関する番組を放送する
6. 万引しにくい店づくりをする
7. 店は万引した子どもやその保護者から罰金、迷惑料などをとる
8. 中古品を買い取る店は、万引した商品かどうかをきちんと確認する

これまでの結果とほぼ同じ傾向であり、小中高すべてで高いのが、「万引について学校の授業でとりあげる」、「保護者は子どもが万引をしないようにしつける」、「万引しにくい店づくりをする」、「万引（窃盗）の刑罰を重くする」である。学年に応じて上昇するのは、「保護者は子どもが万引をしないようにしつける」、「万引（窃盗）の刑罰を重くする」であり、減少するのは、「警察が積極的に取り締まるようにする」、「テレビで万引に関する番組を放送する」となっている。



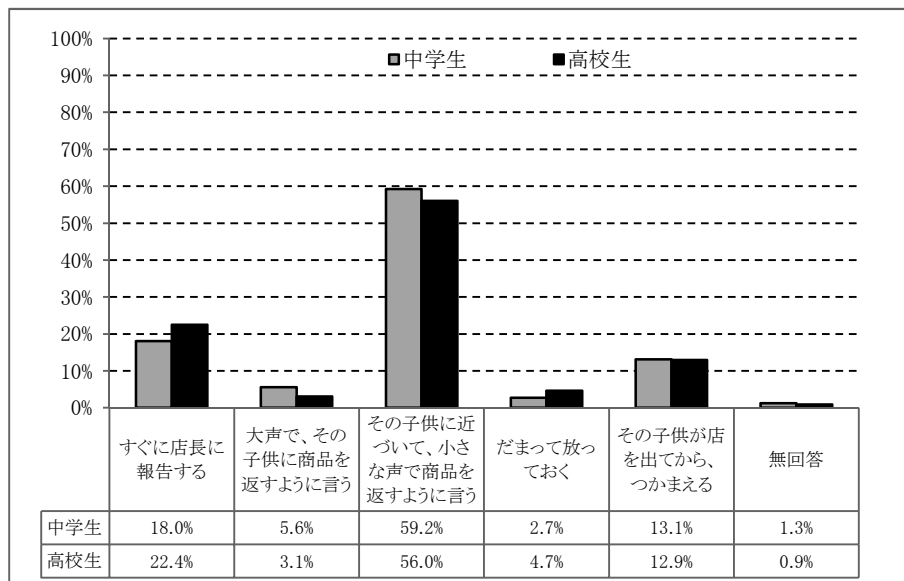
第2章 中学生・高校生のみへの質問

本調査では中学生・高校生には同じ質問紙を用いており、万引に関する具体的な質問を含めている。

2-1. 店員として万引を目撃した場合の対応（中高の間7）

中高の間7. あなたがコンビニでアルバイトをしているとして、子供が商品をカバンに入れているのを見たら、どのように対応しますか。ひとつだけ選んでください。

1. すぐに店長に報告する
2. 大声で、その子供に商品を返すように言う
3. その子供に近づいて、小さな声で商品を返すように言う
4. だまって放っておく
5. その子供が店を出てから、つかまえる



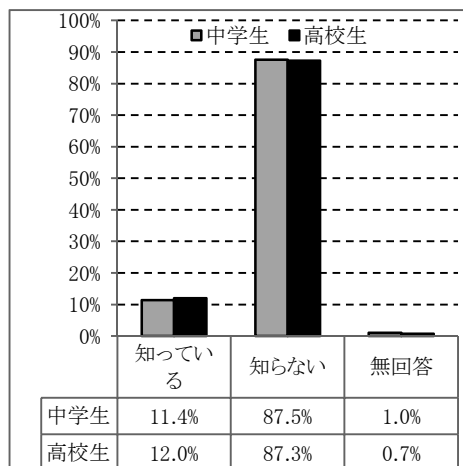
中高ともに、「子どもに近づいて、小さな声で商品を返すように言う」が最多で、かなり少なくなるが、「すぐに店長に報告する」、「その子どもが店を出てから、つかまえる」が続いている。

2-2. 万引しやすい店を知っているか（中高の間8）

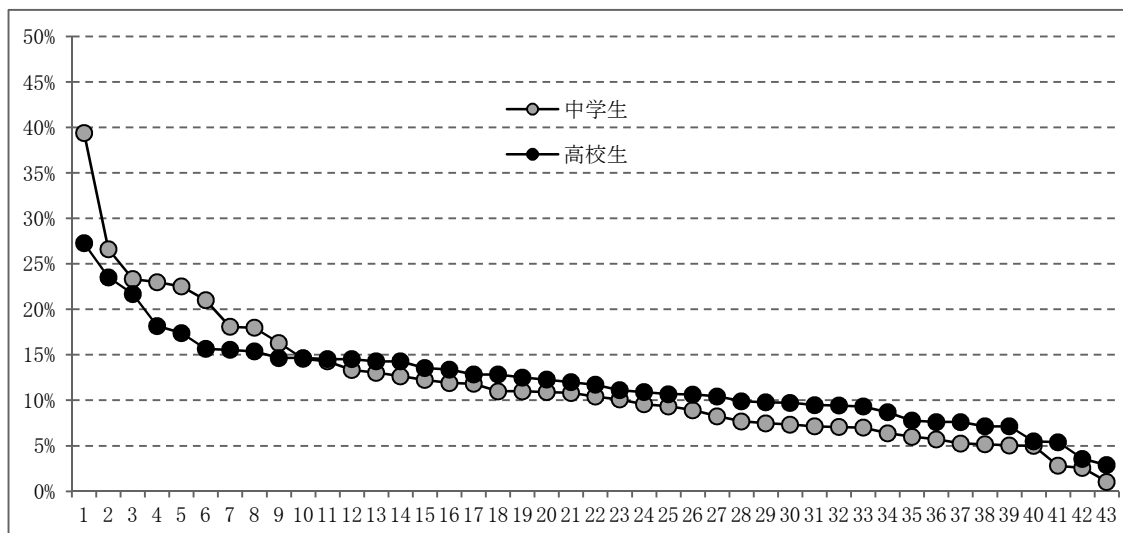
中高の間8. あなたの住んでいる近くで、万引をしやすいと言われている店を知っていますか。ひとつだけ選んでください。

1. 知っている 2. 知らない

「知っている」は、中学生で 16.2%、高校生で 14.9%となっており、昨年の結果とほぼ同値である。



調査票を回収できた中高の 43 の学校（地域）で、「知っている」の回答率を多い順に並べてみると次のようになる。横軸の地域番号は多い順であり、中高で同じ地域を示しているわけではない。

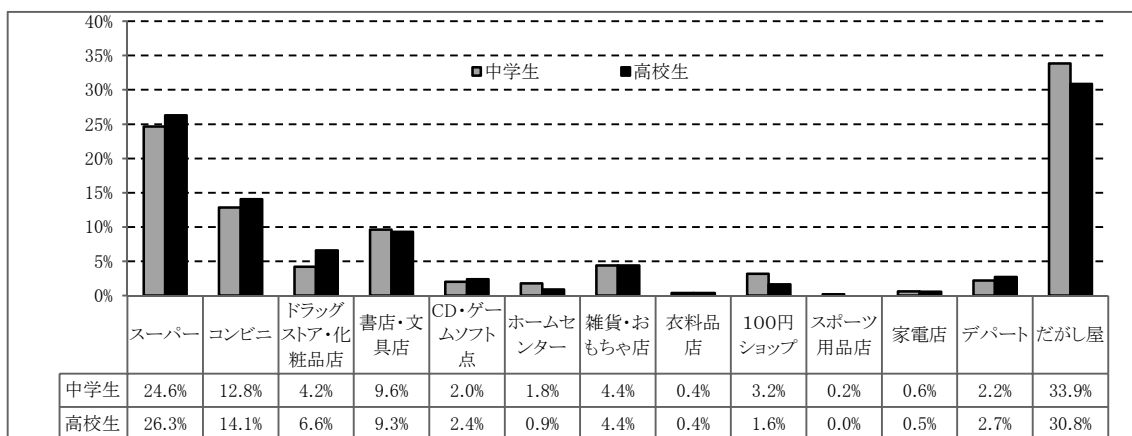


最多は中学生で 39.4%、高校生で 27.3%である。平均は中学生 11.4%、高校生 12.0%で、高校生のほうが多いが、多い地域の順に眺めると、上位 9 校までは中学生のほうが多く、それ以下では中学生のほうが少ないことがわかる。

2-3. 万引しやすい店の種類（中高の間8-1）

中高の間8-1. 前の問8で「1. 知っている」と答えた人だけに聞きます。それはどのような店ですか。ひとつだけ選んでください。

1. スーパー 2. コンビニ 3. ドラッグストア・化粧品店
4. 書店・文具店 5. CD・ゲームソフト店 6. ホームセンター
7. 雑貨・おもちゃ店 8. 衣料品店 9. 100円ショップ
10. スポーツ用品店 11. 家電店 12. デパート 13. だかし屋



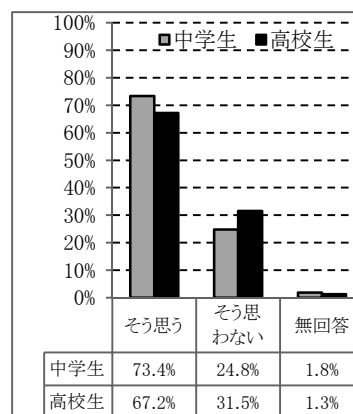
多いのは「だかし屋」、「スーパー」、「コンビニ」、「書店・文具店」である。学年に応じて上昇するのは「スーパー」、「コンビニ」、「ドラッグストア・化粧品店」で、逆は「だかし屋」である。この質問の回答分布はほぼ昨年と同じである。

2-4. 店は警察に通報すべきか（中高の間9）

中高の間9. 万引をした子供を捕まえた店は、警察に通報すべきだと思いますか。

1. そう思う 2. そう思わない

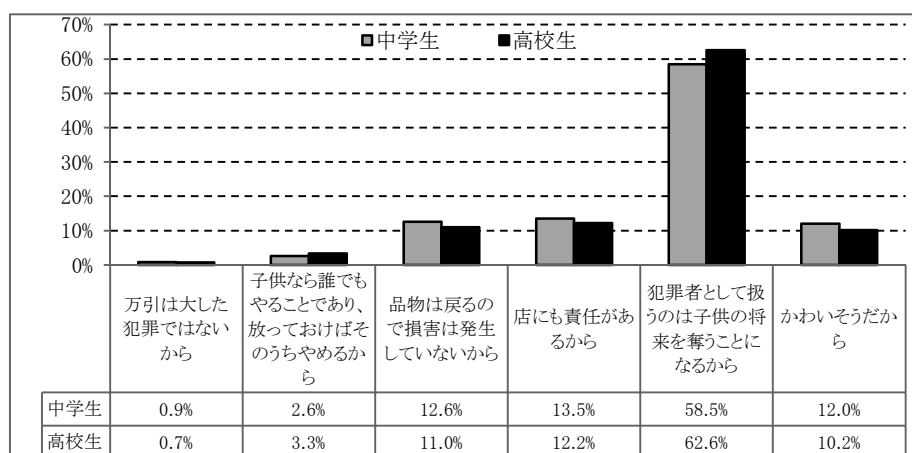
学年に応じて、「そう思う」が少し下降し、「そう思わない」が上昇している。昨年の結果とほぼ同値である。



2－5．店は警察に通報すべきと思わない理由（中高の間9-1）

中高の間9-1. 前問9で「2. そう思わない」と答えた人だけに聞きます。その理由をひとつだけ選んでください。

1. 万引は大した犯罪ではないから
2. 子供なら誰でもやることであり、放っておけばそのうちやめるから
3. 品物は戻るので損害は発生していないから
4. 店にも責任があるから
5. 犯罪者として扱うのは子供の将来を奪うことになるから
6. かわいそうだから

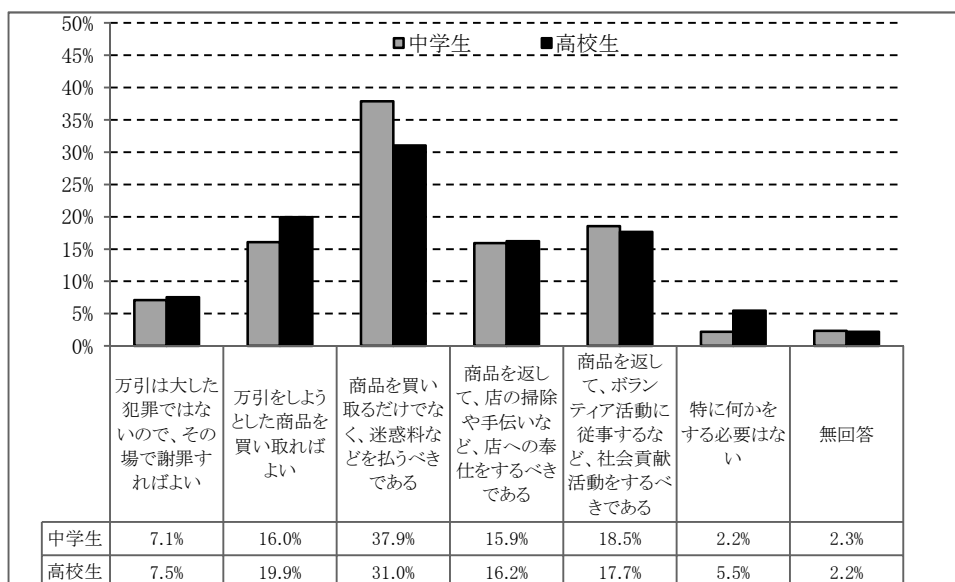


昨年と同様に、「犯罪者として扱うのは子どもの将来を奪うことになるから」が最多となっているが、昨年は中学生 61.6%、高校生 58.8%であり、僅差で入れ替わっている。昨年と比較して、僅差での入れ替わりは、「店にも責任があるから」（昨年は中 10.5%、高 12.5%）、「かわいそうだから」（昨年は中 9.6%、高 10.4%）となっている。

2-6. 万引後の保護者と子どもの対応（中高の間 11）

中高の間 11. 万引をした子どもやその保護者はどのような償いをすべきだと思いますか。ひとつだけ選んでください。

1. 万引は大した犯罪ではないので、その場で謝罪すればよい
2. 万引をしようとした商品を買えばよい
3. 商品を買取るだけでなく、迷惑料などを払うべきである
4. 商品を返して、店の掃除や手伝いなど、店への奉仕をするべきである
5. 商品を返して、ボランティア活動に従事するなど、社会貢献活動をするべきである
6. 特に何かをする必要はない

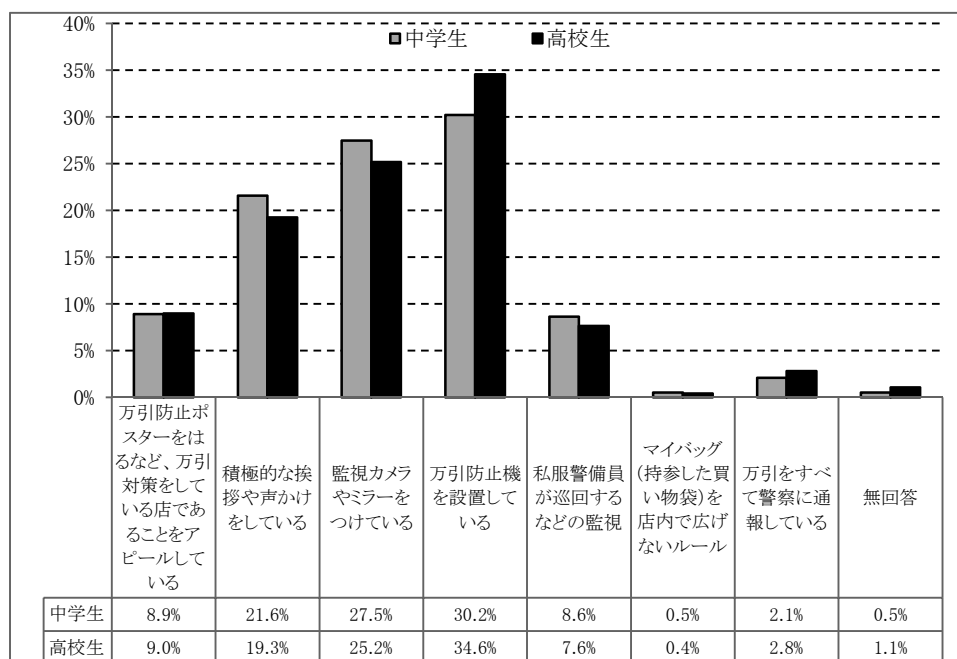


前回までの結果と同様に、最多は「買取るだけでなく、迷惑料を払うべき」となっている。この選択肢を含めて、単に商品を返すだけではなく、「店の掃除や手伝いなど、店への奉仕をするべきである」、「ボランティア活動に従事するなど、社会貢献活動をするべきである」など、何らかの補償を付け加える3項目を選んでいる者が多い。一方で、「商品を買えばよい」も低くはなく、中学生よりも高校生のほうが多い。

2-7. 効果的だと思う店舗の万引対策（中高の間13）

中高の間13. 店は万引をさせないための取り組みをしています、この中であなたがもっとも効果的だと思う取り組みをひとつだけ選んでください。

1. 万引防止ポスターを貼るなど、万引対策をしている店であることをアピールしている
2. 「いらっしゃいませ」などの積極的な挨拶や、「何かお探しですか」などの声かけをしている
3. 店内に監視カメラやミラーをつけている
4. 商品を店外に持ち出さないための万引防止機を設置している
5. 私服警備員が巡回するなどの監視をしている
6. マイバッグ（持参した買い物袋）を店内で広げないルールを作っている
7. 万引をすべて警察に通報している

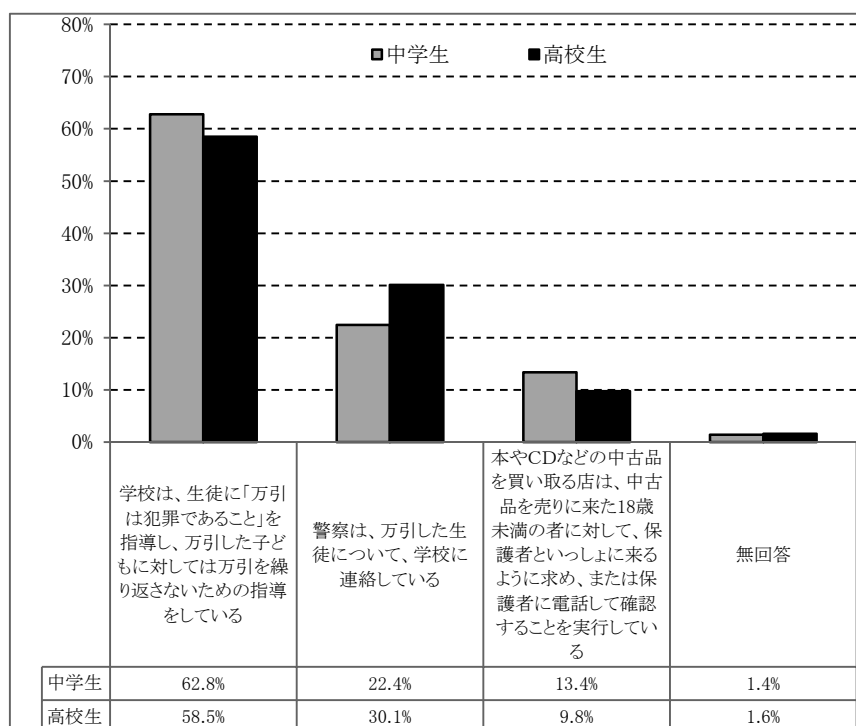


昨年までの結果と同様に、「万引防止機の設定」、「監視カメラやミラーの設定」が最多ではあるが、店員による「挨拶・声かけ」も多い。

2－8．効果的だと思う学校・警察の万引対策（中高の間 14）

中高の間 14. 学校や警察などは、万引防止のための取り組みや制度を整備していますが、この中であなたがもっとも効果的だと思うものをひとつだけ選んでください。

1. 学校は、生徒に「万引は犯罪であること」を指導し、万引した子どもに対しては万引を繰り返さないための指導をしている
2. 警察は、万引した生徒について、学校に連絡している
3. 本やCDなどの中古品を買い取る店は、中古品を売りに来た18歳未満の者に対して、保護者と一緒に来るように求め、または保護者に連絡して確認することを徹底している



回答分布は昨年までとほぼ同じで、学校の指導が重要であるとしている。

第3章 社会的絆の強弱と回答選択との関係

本調査の第8回から昨年の第10回まで、万引に対する態度には日常的生活満足度が関連しているという想定で、日常生活状況の満足度評定を質問紙に含めていた。その結果、生活満足度の指標は、その低さが逸脱行為への寛容さと関連していることがわかった。しかしながら、生活満足度は判断される背景状況が多様であり、様々な状況判断の結果としての曖昧さがある。たとえば、「自分の成績について」への満足度は、勉強して高成績だから高いのか、勉強しなかったのに高成績だから高いのか、あるいは自分の目標としている成績からすれば低いのか、などの解釈によって高低が変化する。さらに、生活満足度を上げることが逸脱行為に対して不寛容になるとしても、貧困や虐待などが満足度の低さの理由となっていれば、生活満足度を上げるための具体的な方策を実施するにはさまざまな困難があろう。

今回の調査では、これらの点を考慮して、具体的な方策につながる質問として、アメリカの社会学者トラヴィス・ハーシ (Travis Hirschi) が提唱した社会的絆理論 (ボンド理論) の考え方 (T・ハーシ『非行の原因—家庭・学校・社会へのつながりを求めて』森田洋司・清水新二監訳、文化書房博文社、1995年：原著は1969年刊) を取り入れることとした。

社会的絆は、家庭、学校、近隣コミュニティなど、青少年が置かれた環境と本人との結びつきであり、自尊感情とも関係すると考えられている。具体的には、家族や友人などの他者への愛着 (Attachment)、目標達成のために積み重ねた投資 (Investment)、慣習的活動に巻き込まれていること (Involvement)、規範や道徳への信念 (Belief)、という四つからなる。

社会的絆が強ければ、逸脱行為に進む傾向が弱まる (統制ないしは抑制が効く) とされており、質問紙も提案されているが、本調査では、ハーシの著作を参考にして、本調査に合うような基本的な質問6項目を作成した。それらは、自尊感情、他者への愛着 (家族・友人)、慣習的活動 (校外活動・近所の人) に巻き込まれていることである。投資ならびに信念については省略したが、本調査の小中高で共通の問1 (万引に対する態度) が信念に関係している。

また、小学生の間9-1 (中高の間15-1) が自尊感情、小の間9-2 (中高の間15-2) が家族への愛着、小の間9-3 (中高の間15-3) が慣習的活動 (学校) に巻き込まれていること、小の間9-4 (中高の間15-4) が友達への愛着、小の間9-5 (中高の間15-5) が慣習的活動 (校外活動) に巻き込まれていること、小の間9-6 (中高の間15-5) が慣習的活動 (近隣) に巻き込まれていることに対応している。

3-1. 社会的絆に関する質問（小の間9、中高の間15）

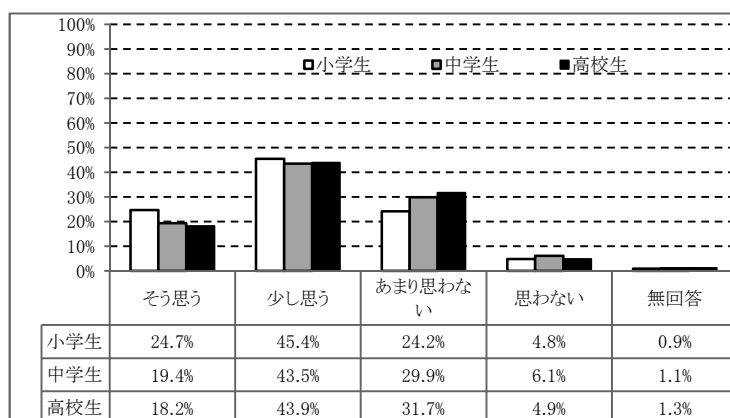
小の間9、中高の間15. あなたは次の間15-1～6のことがらについて、どのように思っていますか。それぞれ次の数字（1～4）からひとつだけ選んでください。

1「そう思う」 2「少し思う」 3「あまり思わない」 4「思わない」

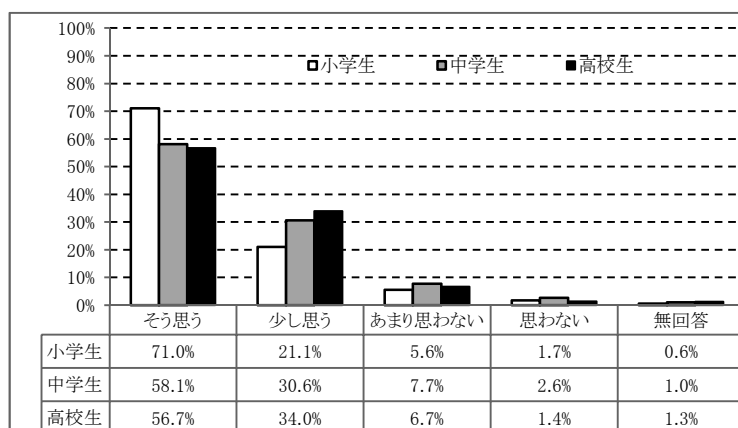
1. 自分にはいろいろと良いところがある
2. 自分は家族から大事にされている
3. 学校に行くことが好きである
4. 友達とは楽しく過ごしている
5. 校外での活動を楽しんでいる
6. 近所の人とは必ずあいさつをする

以下に、各質問での回答選択率をパーセント表示で図示した。

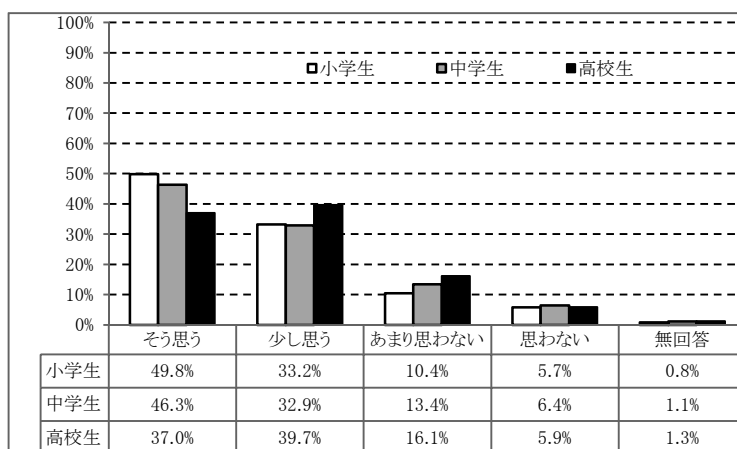
小の間9-1、中高の間15-1. 自分にはいろいろと良いところがある



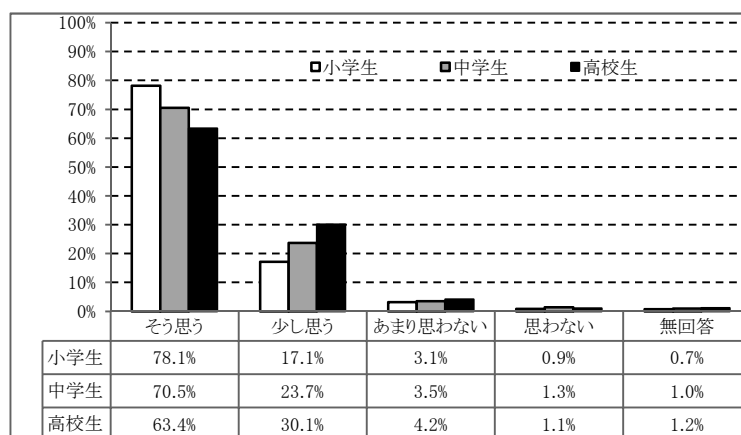
小の間9-2、中高の間15-2. 自分は家族から大事にされている



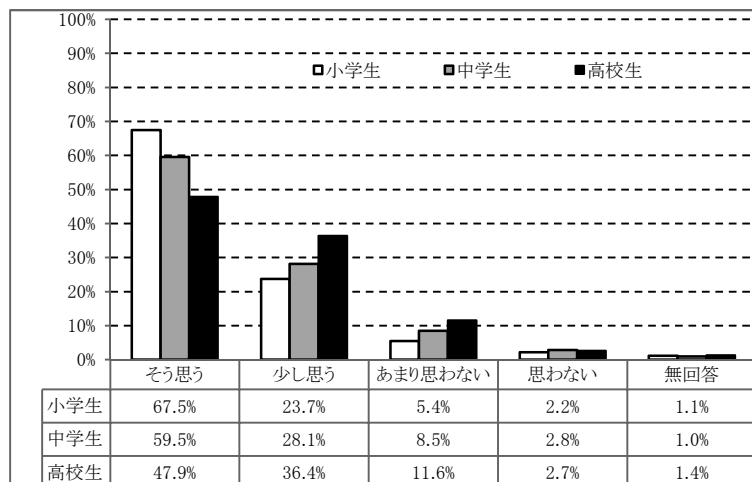
小の間 9-3. 中高の間 15-3. 学校に行くことが好きである



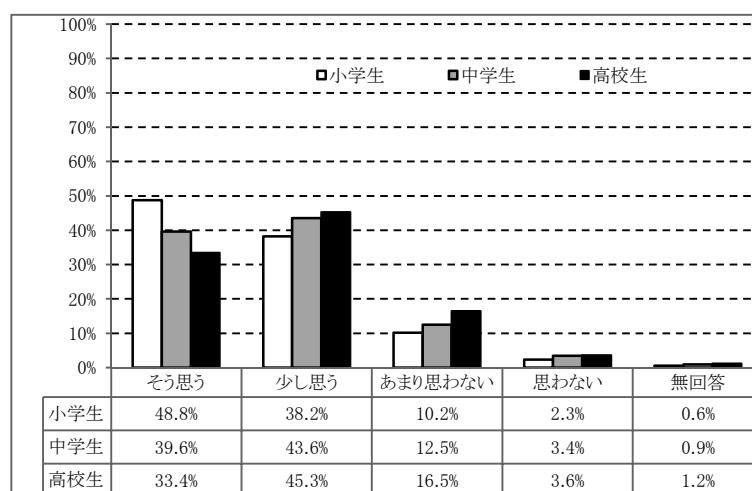
小の間 9-4. 中高の間 15-4. 友達とは楽しく過ごしている



小の間 9-5. 中高の間 15-5. 校外での活動を楽しんでいる



小の間 9-6、中高の間 15-6. 近所の人とは必ずあいさつをする



以上、6 項目の回答分布を眺めると、質問に対して全体に肯定的な（そう思う・少し思う）傾向がある。分布については、小中高すべてで正規分布に近いのは問 1 の「自分にはいろいろと良いところがある」だけで、すべての項目で否定的な（あまり思わない、思わない）回答がかなり少ない。

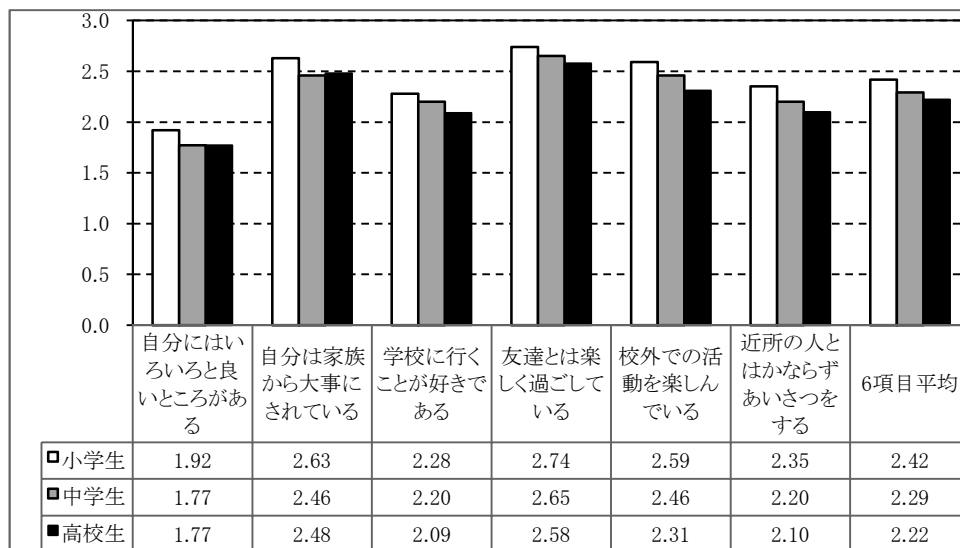
この章では社会的絆に関する質問回答と他の質問の回答との関係を調べていくが、まずは 6 項目から社会的絆の強弱についての指標を選ぶ。この回答選択肢は順序尺度であるから、集計によって間隔尺度とみなすために、リッカートの簡便法を用いる。すなわち、「そう思う」を 3、「少し思う」を 2、「あまり思わない」を 1、「思わない」を 0 として数値化し、6 項目の平均値（あるいは合計値）を各個人の社会的絆の強さ（社会的絆度）と考える。すなわち、6 項目の合計が高いほど社会的絆が強いとみなす。

また、これ以降の分析では、6 項目すべてに回答している者のみを対象とする。6 項目すべてに回答している者は小学生 2,196 人、中学生 4,328 人、高校生 4,487 人であった。

すべての質問についての回答人数ならびに簡便法で数値化した平均を次ページに示した。表の右端は 6 項目を合わせた平均を記載している。また、男女を合わせたグラフも示す。

簡便法で計算した社会的絆 6 項目の回答平均

		回答人数	自分にはいろいろ良いところがある	自分は家族から大事にされている	学校に行くことが好きである	友達とは楽しく過ごしている	校外での活動を楽しんでいる	近所の人とはかならずあいさつをする	6 項目平均
小学生	全体	2,196	1.92	2.63	2.28	2.74	2.59	2.35	2.42
	男	1,068	1.92	2.62	2.20	2.76	2.60	2.31	2.40
	女	1,104	1.91	2.64	2.36	2.72	2.58	2.39	2.43
	無回答	24	1.96	2.58	2.38	2.75	2.58	2.08	2.39
中学生	全体	4,328	1.77	2.46	2.20	2.65	2.46	2.20	2.29
	男	2,144	1.85	2.43	2.21	2.66	2.47	2.21	2.31
	女	2,129	1.69	2.48	2.19	2.63	2.45	2.20	2.28
	無回答	55	1.87	2.44	2.35	2.62	2.36	1.96	2.27
高校生	全体	4,487	1.77	2.48	2.09	2.58	2.31	2.10	2.22
	男	2,162	1.86	2.44	2.11	2.58	2.34	2.09	2.24
	女	2,243	1.67	2.52	2.08	2.57	2.29	2.11	2.21
	無回答	82	1.78	2.45	2.10	2.61	2.30	2.02	2.21



各項目の平均値は全体に、小学生から中学生・高校生にかけて低くなる。自尊感情に関する項目「自分にはいろいろ良いところがある」がもっとも低く、この回答のみ、中高で男子に比べて女子がかなり低い。その次に低いのは、慣習的活動への巻き込まれに関する「学校に行くことが好きである」と「近所の人とはかならずあいさつをする」である。

日本の青少年の自尊感情が海外の青少年と比べて低いことは、これまでに指摘されている。内閣府による「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 平成 25 年度」は、対象年齢が満 13 歳から満 29 歳と高いが、その冊子に収められた分析で加藤弘通は「自尊感情とその関連要因の比較：日本の青年は自尊感情が低いのか？」と題する論文で、「日本の青年

は『自分への満足感』は低い、それは自己有用感との関連で考えられた上での結果である。それに対してアメリカ・イギリスの青年の「自分への満足感」は非常に高いが、それは自分が役に立つ存在であるといった自己有用感とは別次元で考えられた結果である」と指摘し、他国の青年が「対自的」に満足感をとらえ、日本の青年は「対他者」的な関係で満足感をとらえていると述べている。同調査で、日本人は自尊感情ないしは自己満足感の評定は低いものの、自己有用感諸外国と比べて特に低くはない。

巻末資料に、小中高それぞれの項目間の順位相関表を示したが、全体に中くらいの正の相関を示しており、すべて統計的に有意（1%水準）である。そのうち、自尊感情に関する「自分にはいろいろと良いところがある」との順位相関を眺めると、対他者的な関係としての「家族から大事にされている」との相関が特に小中で高いことがわかる。その次に高いのは「学校に行くことが好きである」となっている。

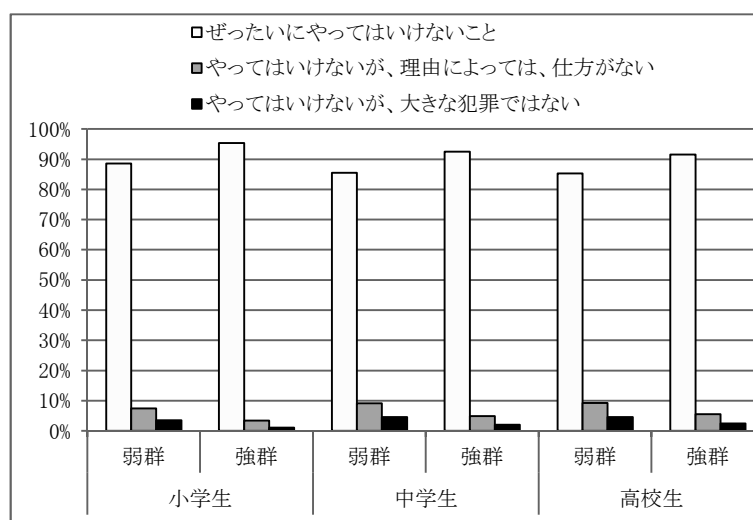
以下の節では、各間における社会的絆との連関を眺めていくが、簡便法による平均値を使った数値の比較は尺度上で無理があるので、2群の分布で比較していく。すなわち、小中高それぞれの6項目の平均値で回答者を二分し、それぞれを社会的絆度の強群と弱群の2群にわけると。弱群とは6項目の平均値未満となる回答者で、強群とは6項目の平均値以上となる回答者である。その内訳は次の通りである。

	区分	人数	割合	6項目の平均
小学生	合計	2,196		2.42
	平均未満(弱群)	895	40.8%	1.95
	平均以上(強群)	1,301	59.2%	2.74
中学生	合計	4,328		2.29
	平均未満(弱群)	1,732	40.0%	1.77
	平均以上(強群)	2,596	60.0%	2.64
高校生	合計	4,487		2.22
	平均未満(弱群)	2,216	49.4%	1.79
	平均以上(強群)	2,271	50.6%	2.64

3-2. 万引に対する自分の考え（小中高の間1）

以下のグラフでは、横軸に小中高それぞれの社会的絆度の弱群・強群の回答選択肢を並べ、縦軸は各回答の選択率（パーセント表示）とした。

問1では、「一度くらいなら、やってもかまわない」と「みんながやっていることで、やってもかまわない」の回答者が非常に少ないため省略した。



小中高すべてにおいて、「絶対にやってはいけないこと」の選択率が弱群より強群で高く、その分、その他の選択肢回答率が減少している。

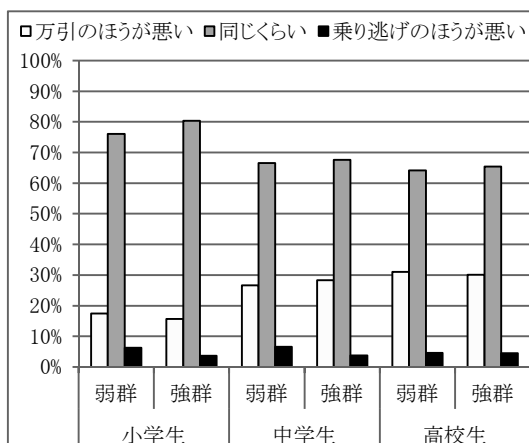
問1はハーシの定義による社会的絆の「規範や道徳についての信念」に関係すると考えられることから、問1の回答選択肢の1を4、2を3、3を2、4を1、5を0という順序に変換（逆転）し、社会的絆6項目との順位相関を求めた。

	自分にはいろいろと良いところがある	自分は家族から大事にされている	学校に行くことが好きである	友達とは楽しく過ごしている	校外での活動を楽しんでいる	近所の人とはかならずあいさつをする	6項目の平均
小学生	.117	.102	.112	.151	.113	.118	.166
中学生	.057	.105	.088	.088	.089	.112	.133
高校生	.036	.084	.079	.073	.074	.084	.108

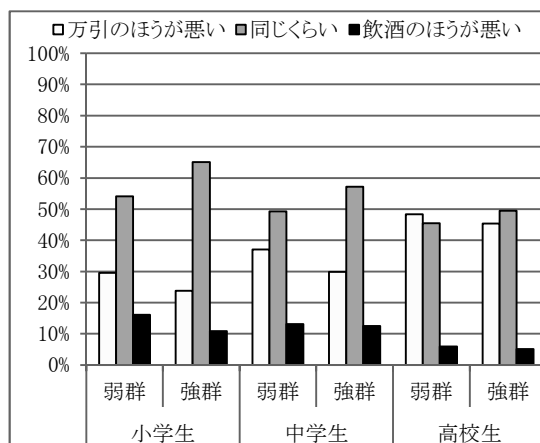
全体に相関は低く、学年が進むにつれて、より低くなる。無相関というわけではない（5%水準で有意）が、本調査での社会的絆度の6項目とは様相が違っているようである。規範的な質問に対する回答特有の傾向、すなわち、ほとんどの回答者が自分の素直な態度表明というよりも、規範知識を知っているというレベルで答えている可能性がある。

3-3. 万引と他の逸脱行為との比較（小中高の間2）

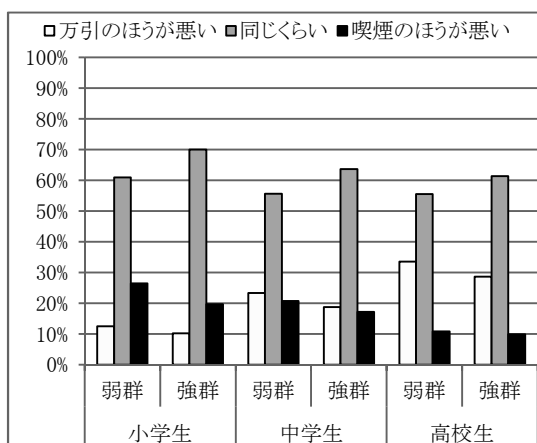
放置自転車の乗り逃げ



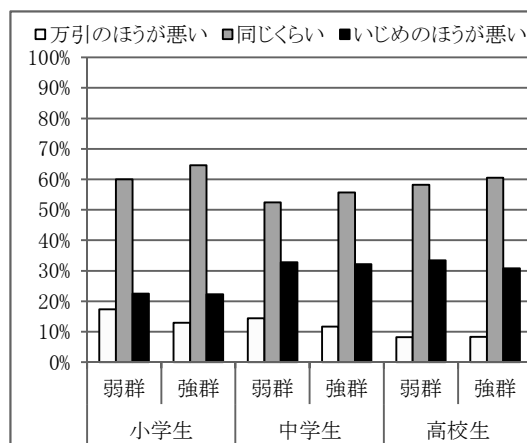
未成年の飲酒



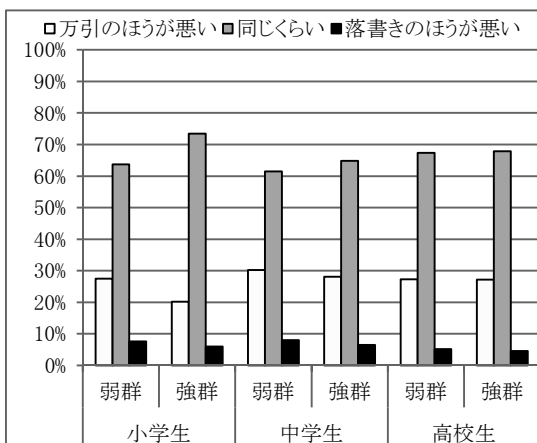
未成年の喫煙



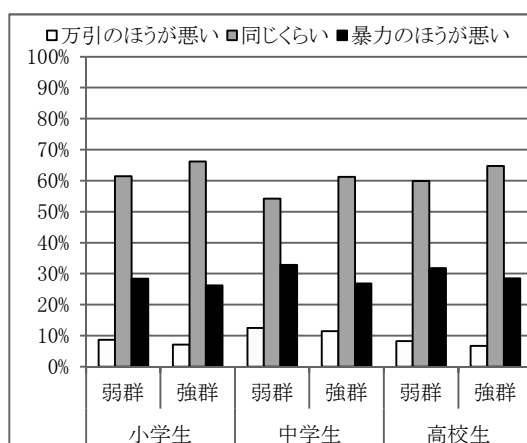
いじめ



公共の建物への落書き



暴力



全体に、弱群より強群のほうが「同じくらい悪い」の回答率が高い。第1章の1－2で見たように、「万引のほうが悪い」と回答した率の指標（万引のほうが悪い／（万引のほうが悪い＋もう一方のほうが悪い））を弱群と強群に分けて計算すると、次のようになる。

「万引のほうが悪い」を選んだ率

		乗り逃げ	飲酒	喫煙	いじめ	落書き	暴力
小学生	弱群	73.6%	64.8%	32.1%	43.5%	78.3%	23.3%
	強群	81.3%	68.7%	34.0%	36.7%	77.1%	21.2%
中学生	弱群	80.3%	73.9%	53.0%	30.5%	79.1%	27.5%
	強群	88.4%	70.5%	52.3%	26.7%	81.3%	29.9%
高校生	弱群	87.0%	89.0%	75.6%	19.8%	84.0%	20.5%
	強群	87.0%	89.8%	74.3%	21.3%	85.5%	19.1%

第2章2－1で見たように、逸脱行為の悪い順の評価は全体では次の順序となっている。

小学生全体：暴力＞喫煙＞いじめ＞万引＞飲酒＞乗り逃げ≒落書き

中学生全体：暴力≒いじめ＞万引≒喫煙＞飲酒＞落書き＞乗り逃げ

高校生全体：暴力≒いじめ＞万引＞喫煙＞落書き＞乗り逃げ＞飲酒

社会的絆度の強弱で分離してみると次のようになる。

小学生弱群：暴力＞喫煙＞いじめ＞万引＞飲酒＞乗り逃げ＞落書き

強群：暴力＞喫煙≒いじめ＞万引＞飲酒＞落書き＞乗り逃げ

中学生弱群：暴力≒いじめ＞万引≒喫煙＞飲酒＞落書き＞乗り逃げ

強群：いじめ≒暴力＞万引≒喫煙＞飲酒＞落書き＞乗り逃げ

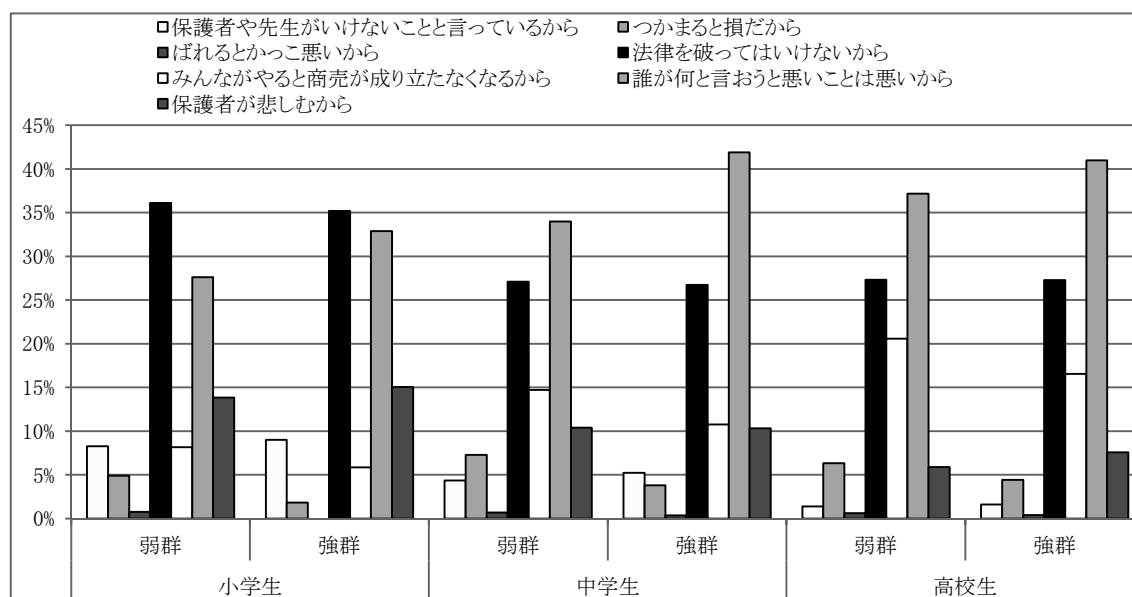
高校生弱群：いじめ≒暴力＞万引＞喫煙＞落書き＞乗り逃げ≒飲酒

強群：暴力≒いじめ＞万引＞喫煙＞落書き≒乗り逃げ≒飲酒

強弱2群で違いが3ポイント以上あるのは、「乗り逃げ」で小中の強群で高く、「飲酒」で小学生の強群が高く、中学生の弱群で高く、小中の「いじめ」が強群で低い。高校生ではあまり違いは見られない。順序が強弱2群で大きく異なることはないが、僅差で逆転している逸脱行為はいくつかある。

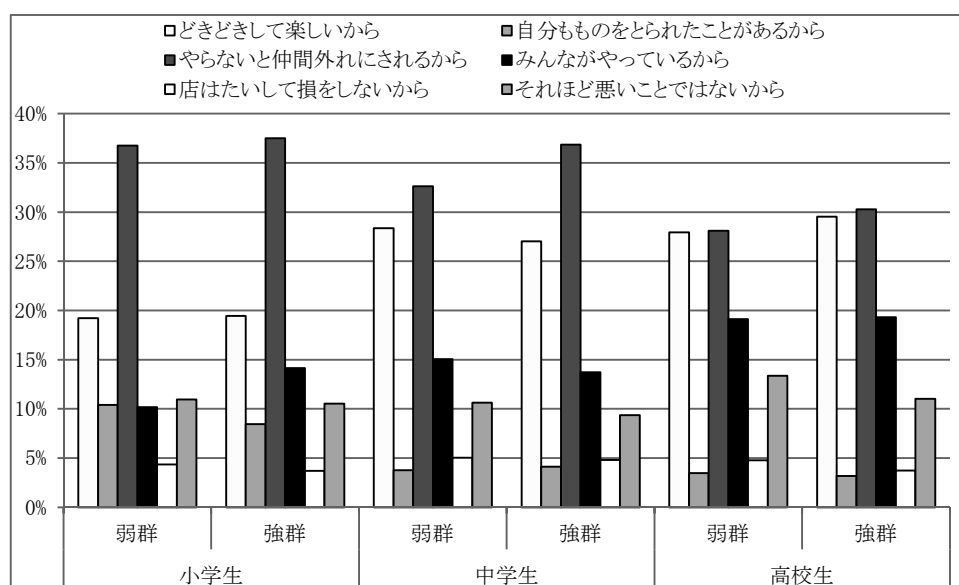
今年の特徴である、小学生の「喫煙」と「いじめ」で順序が昨年から逆転した点について、「いじめ」との差は、弱群で11.4ポイント、強群で2.7ポイントとなり、強群では僅差となっている。これは小学生の強群で「いじめ」が低くなっていることによる。

3-4. 万引をしてはいけない理由（小中高の間3）



全体に、弱群と比べて強群で「誰が何と言おうと悪いことは悪い」が多くなっている。「保護者が悲しむ」は小学生・高校生の強群で多いようである。「ばれるとカッコ悪い」、「法律を破ってはいけないから」は強弱の2群で違いがない。

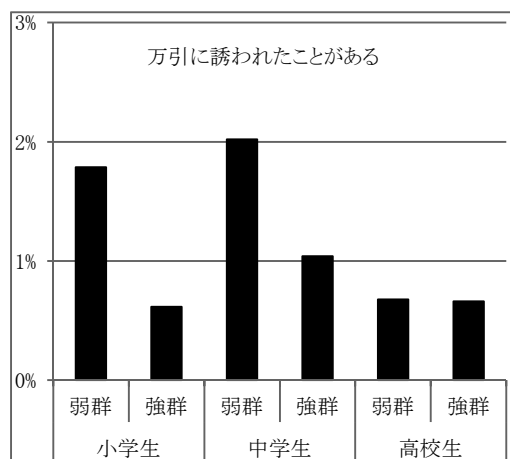
3-5. 万引をする理由（小中高の間4）



強弱の違いは学年によって異なるようである。小学生は「みんながやっている」が強群で多くなる。中高は強群で「やらないと仲間外れにされるから」がより多くなる。

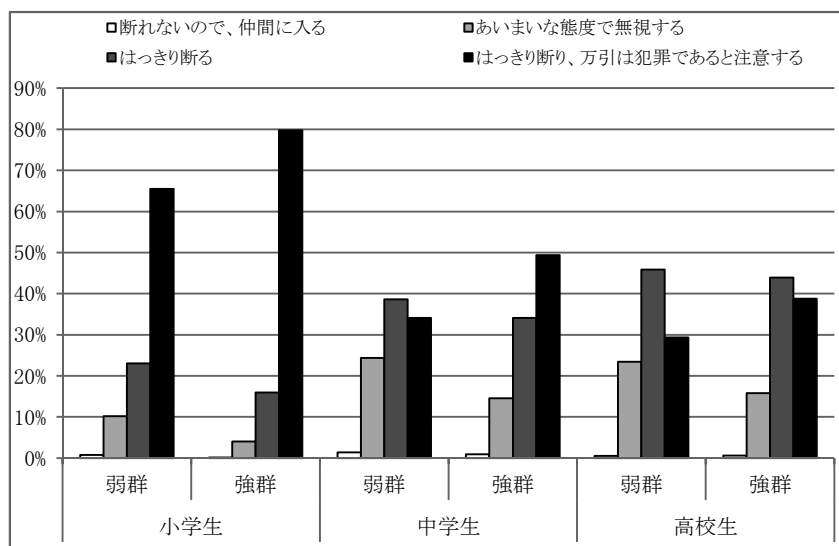
3－6．万引に誘われた経験の有無（小中高の間5）

「万引に誘われたことがある」の回答率だけを図示する。



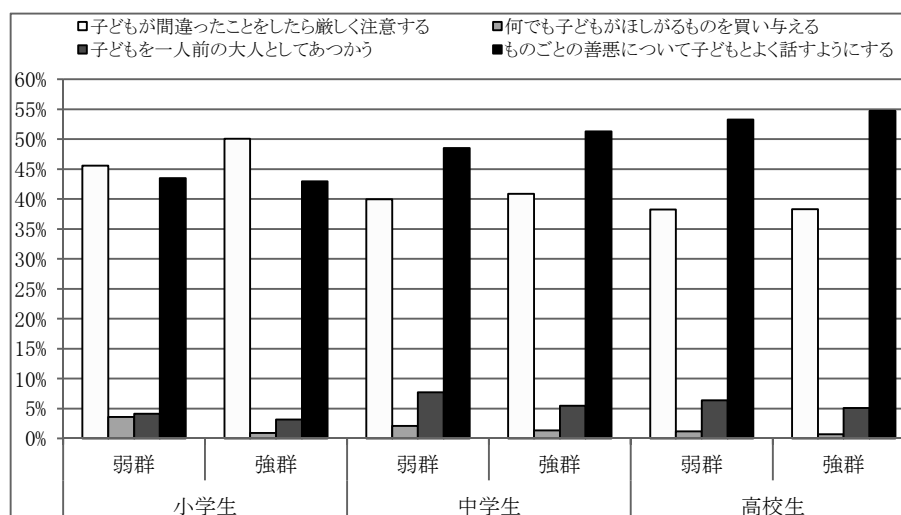
高校生では違いはないが、小学生・中学生で、強群は弱群と比べて大きく下がっている。小中の弱群が万引に誘われる傾向が高いと言える。

3－7．万引に誘われたときの対処（小中高の間6）



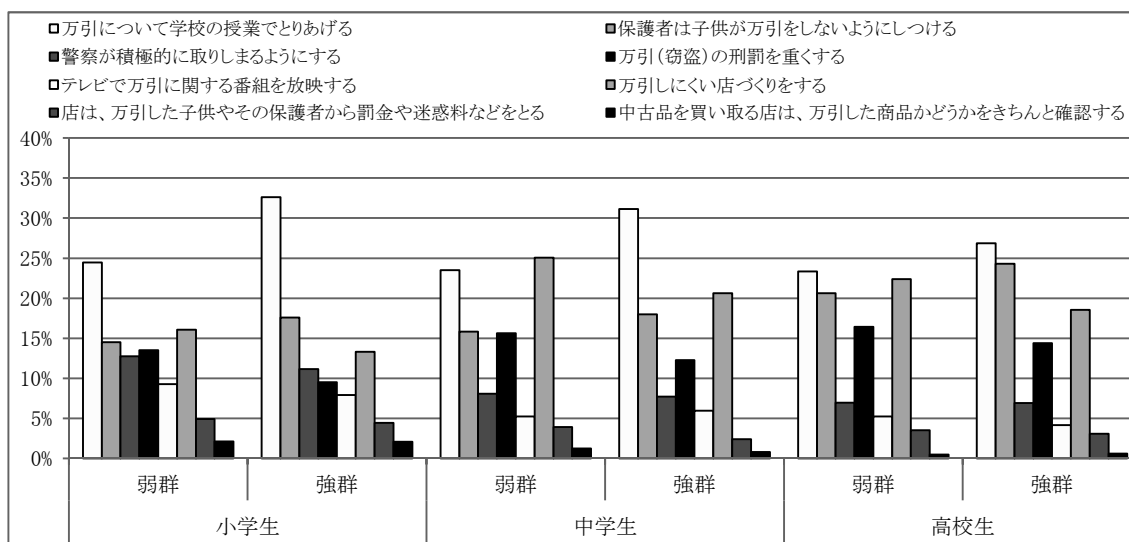
全体に、「あいまいな態度で無視する」「はっきり断る」が強群で少なくなり、逆に、「はっきり断り、万引は犯罪であると注意する」が強群で多くなっている。

3－8．日頃の保護者の対応（小の間7、中高の間10）



小学生では両群ともに「子どもが間違っことをしたら厳しく注意する」が多いが、強群のほうが多くなっている。中高では、「ものごとの善悪について子どもとよく話すようにする」が多く、さらに強群で多くなっている。「何でも子どもがほしがるものを買ひ与える」は全体に強群で少なくなっている。

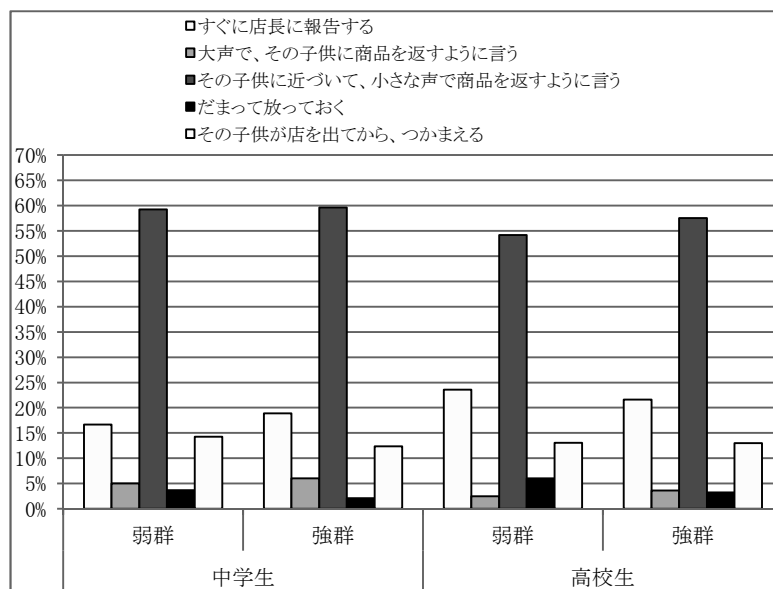
3－9．万引をしなくなるための対策（小の間8、中高の間12）



全体に「学校の授業」、「保護者のしつけ」という教育面の回答が強群で多くなり、その分、「刑罰を重くする」、「万引しにくい店づくり」などの対症的な方法の回答が強群では少なくなる。

以下は、中学生・高校生のみへの質問

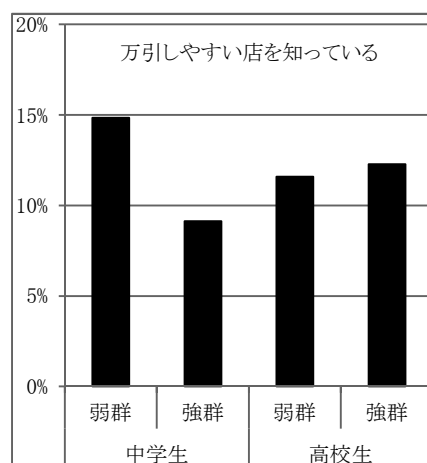
3-10. 店員として万引を目撃した場合の対応（中高の間7）



全体にあまり違いはないが、「だまって放っておく」が中高ともに強群で少なくなっている。

3-11. 万引しやすい店を知っているか（中高の間8）

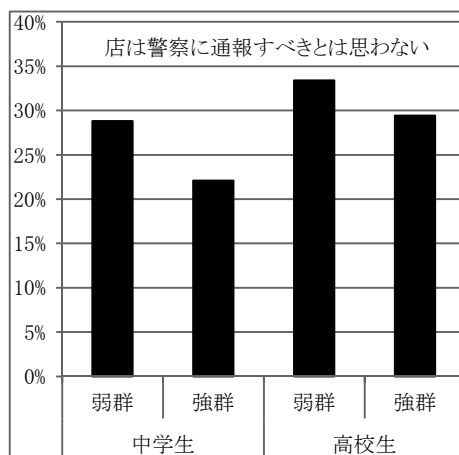
「万引しやすい店を知っている」の回答率だけを図示する。



中学生は強群で半減近くになっているが、高校生では強群でやや高くなっている。

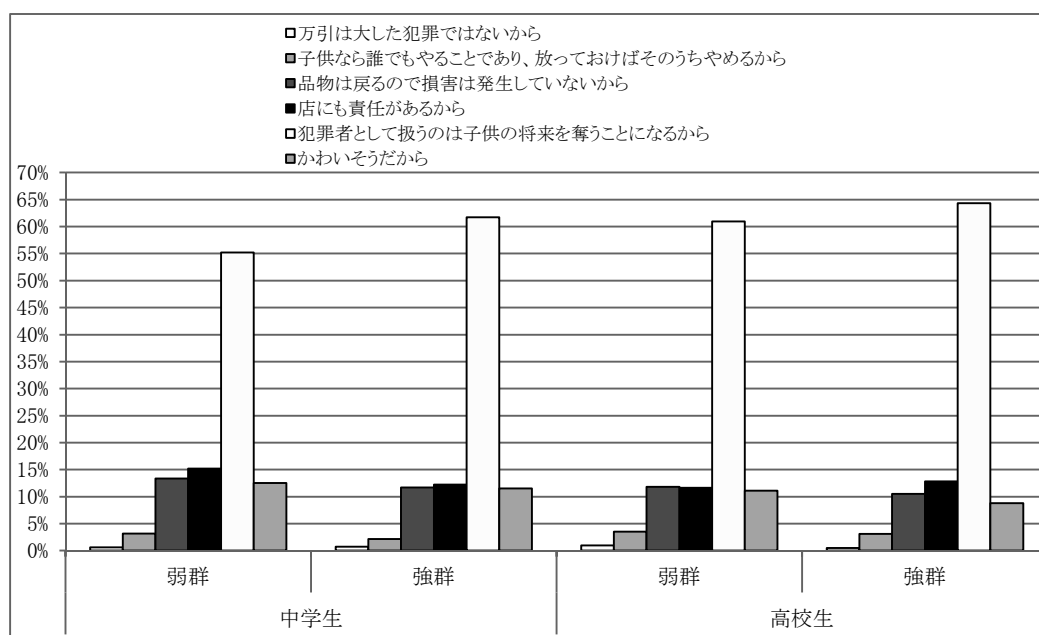
3-12. 店は警察に通報すべきか（中高の間9）

「店は警察に通報すべきとは思わない」の回答率だけを図示する。



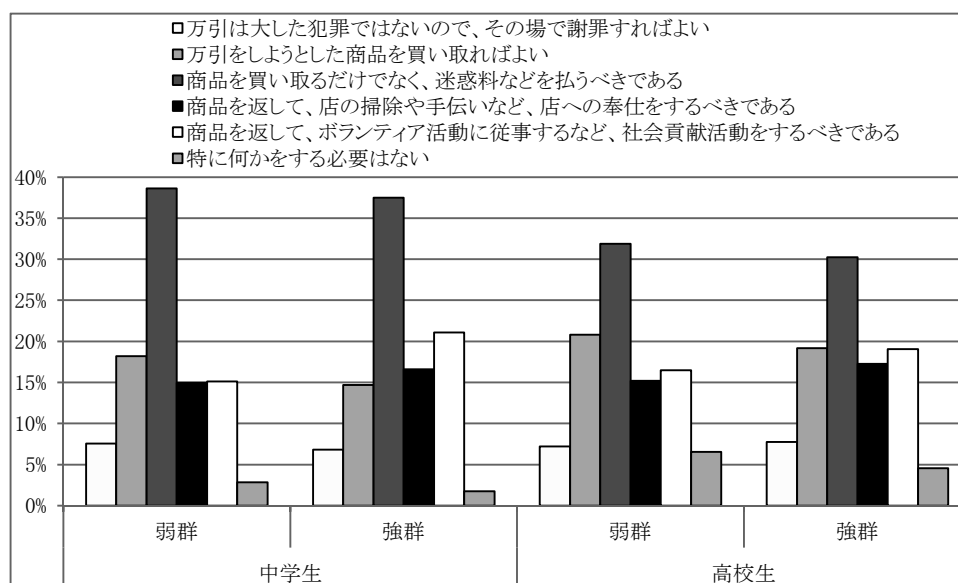
中高ともに、強群で少なくなっている。

3-13. 店は警察に通報すべきと思わない理由（中高の間9-1）



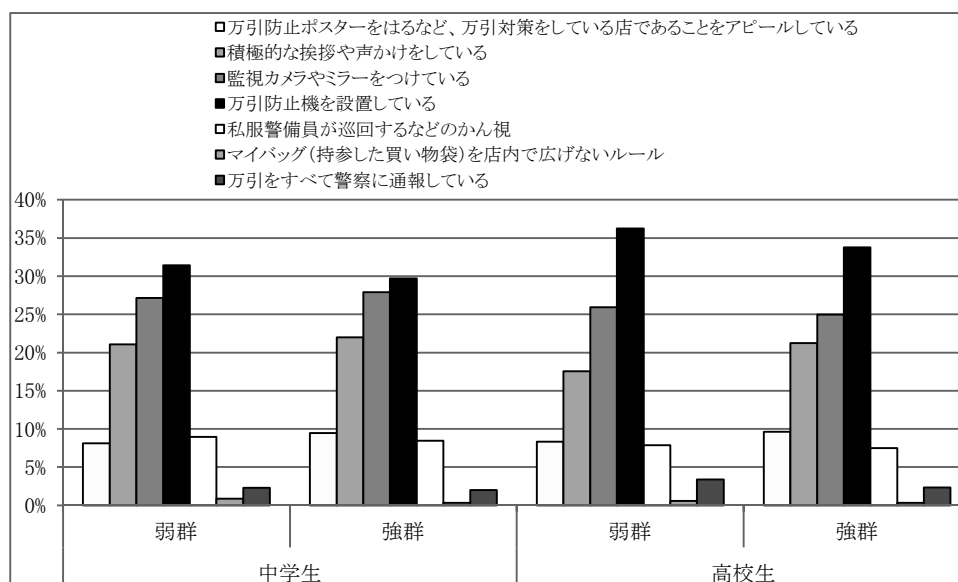
中高ともに「犯罪者として扱うのは子供の将来を奪うことになるから」が強群で高くなっている。わずかではあるが、「店にも責任がある」は中学生では強群で少なく、高校生は強群で多い。

3-14. 万引後の保護者と子どもの対応（中高の間 11）



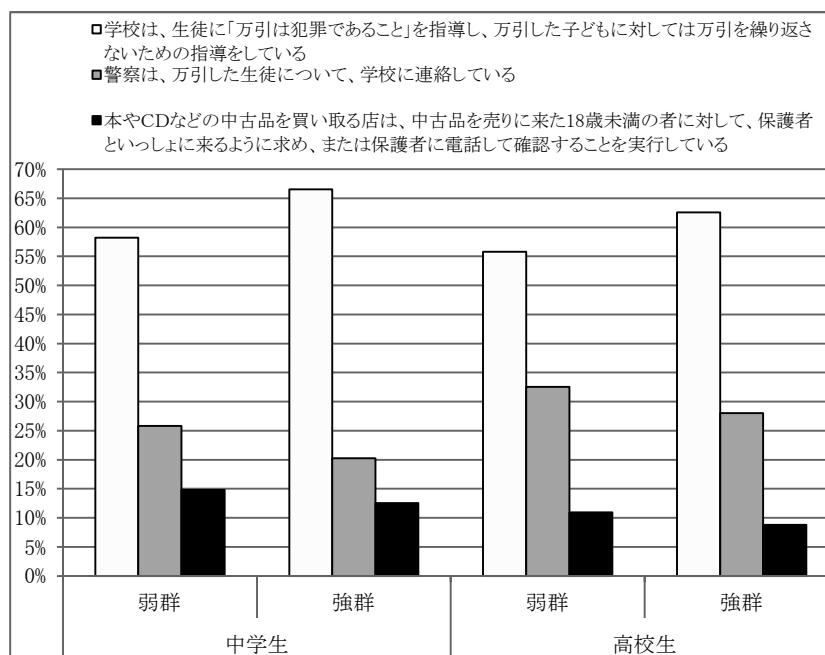
中高ともに、強群は「買い取ればよい」、「迷惑料を支払う」、「特に何かをする必要はない」が低く、「店への奉仕」、「社会貢献活動」で高くなる。

3-15. 効果的だと思う店舗の万引対策（中高の間 13）



中高ともに両群で分布にあまり違いはないが、「積極的な挨拶や声かけ」が強群でやや多くなる。「万引防止機の設置」は全体に多いが、弱群よりも強群で低くなっているようである。

3-16. 効果的だと思う学校・警察の万引対策（中高の間 14）



中高ともに「学校の指導」が強群で多くなっており、その分、「警察の学校への連絡」と「中古品店での確認」が少なくなっている。

まとめ

本調査は、万引犯罪に対する青少年の意識を全国統一の調査票によって把握するため実施され、小学生 2,245 名、中学生 4,394 名、高校生 4,558 名からの回答を得た。

質問紙は小学生用 9 問、中学・高校生用 15 問（うち 9 問は小学生と共通）からなる。今回から、基礎参照項目として、社会的絆の強度測定のための 6 項目を設定し、回答者を社会的絆の弱群・強群に分けて、各問の回答分布を比較分析した。

回答分布の変化

全体の回答分布は昨年までとほぼ同じであった。ここでは回答分布が少し変化した問、昨年とは回答選択肢を変更したことによって回答分布が変化した問の結果をまとめた。先頭の括弧内の数字は本報告書の章と節の番号である。

1. (1-1) 万引に対する自分の考え（小中高の間 1）では、回答選択肢数を 3 から 5 へ増やしたこともあり、「ぜったいにやってはいけないこと」は昨年より少し下がったが、小中高いずれも 90%前後となっている。この回答率は平成 24 年ころをピークとして減少傾向にあるように見える。
2. (1-2) 万引を他の逸脱行為と比べる（小中高の間 2）では、順序に昨年と大きな違いはないが、小学生のみ、「喫煙」と「いじめ」が昨年と比べて逆転している。
 1. 小学生：暴力＞喫煙＞いじめ＞万引＞飲酒＞乗り逃げ≒落書き
 2. 中学生：暴力≒いじめ＞万引≒喫煙＞飲酒＞落書き＞乗り逃げ
 3. 高校生：暴力≒いじめ＞万引＞喫煙＞落書き≒乗り逃げ≒飲酒
3. (1-5) 万引に誘われた経験の有無（小中高の間 5）では、誘われたことがあると回答した率は小学生 1.0%、中学生 1.5%、高校生 0.7%で、これまでの結果と比べて低い。昨年は小学生 1.8%、中学生 2.4%、高校生 1.5%で、その程度でこれまで推移していたが、今回は半減に近い。
4. (1-7) 日頃の保護者の対応（小の間 7、中高の間 10）では、昨年から回答選択肢の内容を少し変更している。多いのは、「1. 子どもが間違っただけをしただけで厳しく注意する（昨年は、子どもが間違っただけをしただけですぐに注意する）」と「4. ものぐとの善悪について子どもとよく話すようにする（昨年は、子どもとよく話すようにする）」で、昨年と同じであるが、今回は学年にともなった減少（1）と増加（4）が明確になっている。

社会的絆の強弱による違い

第3章では、今回の質問紙で導入した社会的絆に関する質問6項目で、合計（平均）の値で回答者を社会的絆の弱い群（平均未満）と強い群（平均以上）に分類し、この強弱に分けた2群（弱群と強群）で各問の回答分布の違いを比較した。ここでは、その結果から、社会的絆の強弱によって回答分布が異なる質問項目から見える特徴をおおまかに分類してみた。特徴を構成する質問項目の先頭の括弧内の数字は本報告書の章と節の番号である。

1. 社会的絆の強群は弱群よりも逸脱行為に対して厳しい態度を持っている

（3－2）万引に対する自分の考え（小中高の問1）で、「ぜったいにやってはいけないこと」の選択率は強群が弱群より高い。

（3－4）万引をしてはいけない理由（小中高の問3）で、弱群と比べて強群で「誰が何と言おうと悪いことは悪い」が多くなっている。

（3－7）万引に誘われたときの対処（小中高の問6）で、「あいまいな態度で無視する」「はっきり断る」が強群で少なくなり、逆に、「はっきり断り、万引は犯罪であると注意する」が強群で多くなっている。

（3－10）店員として万引を目撃した場合の対応（中高の問7）で、全体にあまり違いはないが、「だまって放っておく」が中高ともに強群で少なくなっている。

2. 社会的絆の強群は弱群よりも教育的な側面を重視している

（3－8）日頃の保護者の対応（小の問7、中高の問10）で、小学生では両群ともに「子どもが間違ったことをしたら厳しく注意する」が多いが、強群のほうがより多くなっている。中高では、両群で「ものごとの善悪について子どもとよく話すようにする」が多いが、強群のほうがより多くなっている。

（3－9）万引をしなくなるための対策（小の問8、中高の問12）で、「学校の授業」、「保護者のしつけ」という教育面の回答が強群で多くなり、その分、「刑罰を重くする」、「万引しにくい店づくり」などの対症的な方法の回答が強群では少なくなる。

（3－16）効果的だと思う学校・警察の万引対策（中高の問14）で、中高では「学校の指導」が強群で多くなっている。

3. 社会的絆の強群は弱群よりも社会的関係に配慮している

（3－14）万引後の保護者と子どもの対応（中高の問11）で、中高ともに、強群は「店への奉仕」、「社会貢献活動」で多くなる。

（3－15）効果的だと思う店舗の万引対策（中高の問13）で、中高ともに両群で分布にあまり違いはないが、「積極的な挨拶や声かけ」が強群でやや多くなる。

4. 社会的絆の強群は弱群よりも万引事案に遭遇する機会が少ない

（3－6）万引に誘われた経験の有無（小中高の問5）で、高校生では違いはないが、小学生・中学生で、強群は弱群と比べて誘われた率が大きく下がっている。

質問紙調査票

〈万引についての全国青少年意識調査・小学生用〉

下の枠の中に、都道府県名、学校名を記入し、性別には○をつけて下さい。

都道府県名	学校名	性別
		男・女

記入についてのお願い

1. この調査は、万引についての考え方を全国の小学生のみなさんからお聞きするために
文部科学省・警察庁の協力を得て実施するものです。
2. 調査の対象校は、都道府県別・生徒数別に「クジ」で選んでいます。
3. 下の間には、あなたの気持ちにいちばん近い内容の番号をひとつだけ選んで、
○で囲んで答えて下さい。記入は、えんぴつでもボールペンでもかまいません。
答えたくない質問があれば、番号を選ばなくてもかまいません。
4. 書き終わったら、この用紙を封筒に入れ、封をして出して下さい。
5. この回答から、あなたが誰かわかるようなことはありません。

万引（まんびき）とは

「お金をはらわずに、お店の商品を持っていき、自分のものにすること」をいいます。

問1. 万引について、あなたはどのように考えていますか。

あなたの気持ちにいちばん近いものを、ひとつだけ選んでください。

1. ぜったいにやってはいけないこと
2. やってはいけないが、理由によっては、しかたがない
3. やってはいけないが、大きな犯罪ではない
4. 一度くらいなら、やってもかまわない
5. みんながやっていることで、やってもかまわない

問2. 万引とほかのこととくらべると、どちらが悪いと思いますか。

次の問2－1～6で、それぞれ1～3からひとつだけ選んでください。

問2－1. 万引と、置きっぱなしの自転車の乗りにげをくらべると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. 乗りにげのほうが悪い

問2－2. 万引と、子どもがお酒を飲むことをくらべると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. お酒を飲むほうが悪い

問2－3. 万引と、子どもがタバコを吸うことをくらべると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. タバコを吸うほうが悪い

問2－4. 万引と、いじめをくらべると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. いじめのほうが悪い

問2-5. 万引と、公共の^{たてもの}建物の^{かべ}壁や^{へい}塀に^{らくがき}落書をするをくらべると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. ^{らくがき}落書のほうが悪い

問2-6. 万引と、人に^{ぼうりよく}暴力をふるうをくらべると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. ^{ぼうりよく}暴力のほうが悪い

問3. 万引をしてはいけない理由として、あなたの気持ちにいちばん近い理由を、ひとつだけ選んでください。

1. ^{ほごしや}保護者や先生がいけないことと言っているから
2. ^{そん}つかまると損だから
3. ばれるとかっこ悪いから
4. ^{ほうりつ}法律を^{やぶ}破ってはいけないから
5. お店はみんながやると商売ができなくなるから
6. だれが何と言おうと悪いことは悪いから
7. ^{ほごしや}保護者が悲しむから

問4. 子どもが万引をするのはなぜだと思いますか。ひとつだけ選んでください。

1. どきどきして楽しいから
2. 自分もものをとられたことがあるから
3. やらないと^{なかまはず}仲間外れにされるから
4. みんながやっているから
5. 店はたいして^{そん}損をしないから
6. それほど悪いことではないから

問5. この1年の間に、あなたは万引をしようと^{さそ}誘われたことはありますか。

1. ある
2. ない

問6. 友だちから万引をしようと^{さそ}誘われたら、あなたはどうしますか。

あなたの気持ちにいちばん近いものを、ひとつだけ選んでください。

1. 友だちの^{さそ}誘いはことわれないので、仲間に入る
2. 友だちの^{さそ}誘いをあいまいな態度で無視する
3. 友だちの^{さそ}誘いははっきりことわる
4. 友だちの^{さそ}誘いははっきりことわり、万引は犯罪であると注意する

問 7. 保護者は子どもが万引などの犯罪をしないようにするために、日頃から子どもとどのように接すればいいと思いますか。あなたの気持ちにいちばん近いものを、ひとつだけ選んでください。

1. 子どもが間違っ^{まちが}たことをしたら厳^{きび}しく注意する
2. 何でも子どもがほしがるものを買^{あた}い与える
3. 子どもを一人前^{いちにんまえ}の大人としてあつかう
4. ものごとの善悪^{ぜんあく}について子どもとよく話すようにする

問 8. あなたは子どもが万引をしなくなるためにどうすればよいと思いますか。いちばん効果^{こうか}があると思うことを、ひとつだけ選んでください。

1. 万引について学校の授業で取り上げる
2. 保護者は子どもが万引をしないようにしつける
3. 警察が積極^{けいさつ}的に取りしめるようにする
4. 万引の刑罰^{けいばつ}を重くする
5. テレビで万引に関する番組をやる
6. 万引しにくい店づくりをする
7. 店は、万引した人やその保護者^{ほごしや}から罰金^{ばっきん}をとる
8. 中古品を買^{たし}い取る店は、万引した商品かどうかをきちんと確かめる

問 9. あなたは次の問 9－1～6 のことがらについて、どのように思っていますか。それぞれ次の数字（1～5）からひとつだけ選んでください。

- | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|
| 問 9－1. 自分にはいろいろと良いところがある | （ 1 ） | （ 2 ） | （ 3 ） | （ 4 ） |
| 問 9－2. 自分は家族から大事 ^{だいじ} にされている | （ 1 ） | （ 2 ） | （ 3 ） | （ 4 ） |
| 問 9－3. 学校に行くことが好きである | （ 1 ） | （ 2 ） | （ 3 ） | （ 4 ） |
| 問 9－4. 友達とは楽しく過 ^{すご} ぎしている | （ 1 ） | （ 2 ） | （ 3 ） | （ 4 ） |
| 問 9－5. 校外での活動を楽しんでいる | （ 1 ） | （ 2 ） | （ 3 ） | （ 4 ） |
| 問 9－6. 近所の人とはかならずあいさつをする | （ 1 ） | （ 2 ） | （ 3 ） | （ 4 ） |

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

〈万引についての全国青少年意識調査・中高生用〉

下の枠の中に、都道府県名、学校名を記入し、性別には○をつけて下さい

都道府県名	学校名	性別
		男・女

記入についてのお願い

1. この調査は、万引などに対する考え方を全国の中学生・高校生の皆さんからお聞きするために、文部科学省・警察庁の協力を得て実施するものです。
2. 調査の対象校は都道府県別・生徒数別に「クジ」で選んでいます。
3. 以下の質問では、あなたの考え方に一番近い内容の番号をひとつだけ選び、○で囲んでください。記入は鉛筆でもボールペンでもかまいません。
もし、回答したくない質問があれば、番号を選ばなくてもかまいません。
4. 書き終わったら、この調査票を封筒に入れ、封をして提出して下さい。
5. 調査内容は統計的に処理され、あなたが誰かわかるようなことはありません。

問1. 万引についてあなたはどのように考えていますか。

あなたの考え方に一番近いものをひとつだけ選んでください。

1. ぜったいにやってはいけないこと
2. やってはいけないが、理由によっては、仕方がない
3. やってはいけないが、大きな犯罪ではない
4. 一度くらいなら、やってもかまわない
5. みんながやっていることで、やってもかまわない

問2. 万引と他のいくつかの行為^{こうい}を比べると、どちらが悪いと思いますか。

次の問2-1～6で、それぞれ1～3からひとつだけ選んでください。

問2-1. 万引と、放置自転車の乗り逃げを比べると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. 乗り逃げのほうが悪い

問2-2. 万引と、未成年者の飲酒を比べると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. 飲酒のほうが悪い

問2-3. 万引と、未成年者の喫煙^{きつえん}を比べると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. 喫煙^{きつえん}のほうが悪い

問2-4. 万引と、いじめを比べると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. いじめのほうが悪い

問2-5. 万引と、公共の建物の壁や塀^{へい}に落書^{らくがき}をすることを比べると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. 落書のほうが悪い

問2-6. 万引と、人に暴力をふるうことを比べると

1. 万引のほうが悪い 2. 同じくらい悪い 3. 暴力のほうが悪い

問3. 万引をしてはいけない理由として、あなたが一番もつともだと思う理由をひとつだけ選んでください。

1. 保護者や先生がいけないことと言っているから
2. つかまると損だから
3. ばれるとカッコ悪いから
4. 法律を破ってはいけないから
5. みんながやると商売が成り立たなくなるから
6. 誰が何と言おうと悪いことは悪いから
7. 保護者が悲しむから

問4. 子供が万引をするのはなぜだと思いますか。ひとつだけ選んでください。

1. どきどきして楽しいから
2. 自分もものをとられたことがあるから
3. やらないと仲間外れにされるから
4. みんながやっているから
5. 店はたいして損をしないから
- 6.それほど悪いことではないから

問5. この1年の間に、あなたは万引をしようと誘われたことがありますか。

1. ある
2. ない

問6. 友達から万引をしようと誘^{さそ}われたら、あなたはどうしますか。
あなたの気持ちに一番近いものを、ひとつだけ選んでください。

1. 友達の誘いは断れないので、仲間に入る
2. 友達の誘いをあいまいな態度で無視する
3. 友達の誘いをはっきり断る
4. 友達の誘いをはっきり断り、万引は犯罪であると注意する

問7. あなたがコンビニでアルバイトをしているとして、子供が商品をカバンに入れているのを見たら、どのように対応しますか。ひとつだけ選んでください。

1. すぐに店長に報告する
2. 大声で、その子供に商品を返すように言う
3. その子供に近づいて、小さな声で商品を返すように言う
4. だまって放っておく
5. その子供が店を出てから、つかまえる

問 8. あなたの住んでいる近くで、万引をしやすいと言われている店を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問 8-1. 前の問 8 で「1. 知っている」と答えた人だけに聞きます。

それはどういう店ですか。ひとつだけ選んでください。

- | | | | |
|-------------|---------------|-----------------|----------|
| 1. スーパー | 2. コンビニ | 3. ドラッグストア・化粧品店 | |
| 4. 書店・文具店 | 5. CD・ゲームソフト店 | 6. ホームセンター | |
| 7. 雑貨・おもちゃ店 | 8. 衣料品店 | 9. 100 円ショップ | |
| 10. スポーツ用品店 | 11. 家電店 | 12. デパート | 13. だがし屋 |

問 9. 万引をした子供を捕まえた店は、警察に通報すべきだと思いますか。

1. そう思う
2. そう思わない

問 9-1. 前の問 9 で「2. そう思わない」と答えた人だけに聞きます。

その理由をひとつだけ選んでください。

1. 万引は大した犯罪ではないから
2. 子供なら誰でもやることであり、放っておけばそのうちやめるから
3. 品物は戻るので損害は発生していないから
4. 店にも責任があるから
5. 犯罪者として扱うのは子供の将来を奪うことになるから
6. かわいそうだから

問 10. 保護者は子供が万引などの犯罪行為をしないようにするために、日頃から子供とどのように接すればいいと思いますか。ひとつだけ選んでください。

1. 子どもが間違ったことをしたら厳しく注意する
2. 何でも子どもがほしがるものを買って与える
3. 子どもを一人前の大人としてあつかう
4. ものごとの善悪について子どもとよく話すようにする

問1 1. 万引をした子供やその保護者はどのような償^{つぐな}いをすべきだと思いますか。
ひとつだけ選んでください。

1. 万引は大した犯罪ではないので、その場で謝罪すればよい
2. 万引をしようとした商品を買えばよい
3. 商品を買取るだけでなく、迷惑料^{めいわく}などを払うべきである
4. 商品を返して、店の掃除や手伝いなど、店への奉仕^{ほうし}をするべきである
5. 商品を返して、ボランティア活動に従事するなど、社会貢献^{こうけん}活動をするべきである
6. 特に何かをする必要はない

問1 2. あなたは子供が万引をしなくなるためにはどうすればいいと思いますか。
もっとも効果があると思えることをひとつだけ選んでください。

1. 万引について学校の授業でとりあげる
2. 保護者は子供が万引をしないようにしつける
3. 警察が積極的に取りしめるようにする
4. 万引（窃盗^{せつとう}）の刑罰^{けいばつ}を重くする
5. テレビで万引に関する番組を放映する
6. 万引しにくい店づくりをする
7. 店は、万引した子供やその保護者から罰金や迷惑料などをとる
8. 中古品を買取る店は、万引した商品かどうかをきちんと確認する

問1 3. 店は万引をさせないための取り組みをしています、この中であなたが
もっとも効果的だと思う取り組みをひとつだけ選んでください。

1. 万引防止ポスターをはるなど、万引対策をしている店であることをアピールしている
2. 「いらっしゃいませ」などの積極的な挨拶や、「何かお探しですか」などの声かけをしている
3. 店内に監視^{かんし}カメラやミラーをつけている
4. 商品を店外に持ち出さないための万引防止機を設置している
5. 私服警備員が巡回するなどの監視をしている
6. マイバッグ（持参した買い物袋）を店内で広げないルールを作っている
7. 万引をすべて警察に通報している

問 1 4. 学校や警察などは、万引防止のための取り組みや制度を整備していますが、
この中であなたがもっとも効果的だと思うものをひとつだけ選んでください。

1. 学校は、生徒に「万引は犯罪であること」を指導し、万引した子どもに
対しては万引を繰り返さないための指導をしている
2. 警察は、万引した生徒について、学校に連絡している
3. 本やCDなどの中古品を買い取る店は、中古品を売りに来た 18 歳未満の
者に対して、保護者といっしょに来るように求め、または保護者に電話して確
認することを実行している

問 1 5. あなたは次の問 1 5－1～6 のことがらについて、どのように思っていますか。
それぞれ次の数字（1～5）からひとつだけ選んでください。

- | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----------|-----------|--------------|-----------|---|
| 問 1 5－1. 自分にはいろいろと良いところがある | （ | そう思う
1 | 少し思う
2 | あまり思わない
3 | 思わない
4 | ） |
| 問 1 5－2. 自分は家族から大事にされている | （ | そう思う
1 | 少し思う
2 | あまり思わない
3 | 思わない
4 | ） |
| 問 1 5－3. 学校に行くことが好きである | （ | そう思う
1 | 少し思う
2 | あまり思わない
3 | 思わない
4 | ） |
| 問 1 5－4. 友達とは楽しく過ごしている | （ | そう思う
1 | 少し思う
2 | あまり思わない
3 | 思わない
4 | ） |
| 問 1 5－5. 校外での活動を楽しんでいる | （ | そう思う
1 | 少し思う
2 | あまり思わない
3 | 思わない
4 | ） |
| 問 1 5－6. 近所の人とは必ずあいさつをする | （ | そう思う
1 | 少し思う
2 | あまり思わない
3 | 思わない
4 | ） |

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

集計表

本調査の回答集計

小学生・中学生・高校生への共通質問

中学生・高校生のみへの質問

全国・東京都万引統計 平成 26 年

小学生・中学生・高校生への共通質問 集計表

小中高の間1 万引についてあなたはどのように考えていますか。あなたの気持ちに一番近いものをひとつだけ選んでください。

		ぜったいにやってはいけないこと	やっではいけないが、理由によっては、仕方がない	やっではいけないが、大きな犯罪ではない	一度くらいなら、やってもかまわない	みんながやっていることで、やってもかまわない	無回答	合計
小学生	男	1,003 91.6%	60 5.5%	27 2.5%	2 0.2%	0.0%	3 0.3%	1,095 100%
	女	1,053 93.6%	53 4.7%	18 1.6%	0.0%	1 0.1%	0.0%	1,125 100%
	無回答	22 88.0%	2 8.0%	1 4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25 100%
	合計	2,078 92.6%	115 5.1%	46 2.0%	2 0.1%	1 0.0%	3 0.1%	2,245 100%
中学生	男	1,916 87.8%	174 8.0%	72 3.3%	3 0.1%	5 0.2%	13 0.6%	2,183 100%
	女	1,966 91.3%	115 5.3%	62 2.9%	2 0.1%	1 0.0%	8 0.4%	2,154 100%
	無回答	54 94.7%	1 1.8%	1 1.8%	0.0%	0.0%	1 1.8%	57 100%
	合計	3,936 89.6%	290 6.6%	135 3.1%	5 0.1%	6 0.1%	22 0.5%	4,394 100%
高校生	男	1,877 85.2%	211 9.6%	98 4.4%	4 0.2%	4 0.2%	10 0.5%	2,204 100%
	女	2,075 91.4%	125 5.5%	60 2.6%	1 0.0%	1 0.0%	8 0.4%	2,270 100%
	無回答	77 91.7%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	0.0%	1 1.2%	84 100%
	合計	4,029 88.4%	338 7.4%	160 3.5%	7 0.2%	5 0.1%	19 0.4%	4,558 100%

小中高の間 2-1. 万引と、放置自転車の乗り逃げを比べると

		万引のほうが悪い	同じくらい悪い	乗り逃げのほうが悪い	無回答	合計
小学生	男	173 15.8%	844 77.1%	76 6.9%	2 0.2%	1,095 100%
	女	186 16.5%	903 80.3%	31 2.8%	5 0.4%	1,125 100%
	無回答	8 32.0%	14 56.0%	3 12.0%		25 100%
	合計	367 16.3%	1,761 78.4%	110 4.9%	7 0.3%	2,245 100%
中学生	男	609 27.9%	1,402 64.2%	163 7.5%	9 0.4%	2,183 100%
	女	577 26.8%	1,506 69.9%	62 2.9%	9 0.4%	2,154 100%
	無回答	18 31.6%	34 59.6%	4 7.0%	1 1.8%	57 100%
	合計	1,204 27.4%	2,942 67.0%	229 5.2%	19 0.4%	4,394 100%
高校生	男	697 31.6%	1,349 61.2%	155 7.0%	3 0.1%	2,204 100%
	女	672 29.6%	1,547 68.1%	48 2.1%	3 0.1%	2,270 100%
	無回答	28 33.3%	50 59.5%	6 7.1%		84 100%
	合計	1,397 30.6%	2,946 64.6%	209 4.6%	6 0.1%	4,558 100%

小中高の間 2-2. 万引と、未成年者の飲酒を比べると

		万引のほうが悪い	同じくらい悪い	飲酒のほうが悪い	無回答	合計
小学生	男	332 30.3%	609 55.6%	153 14.0%	1 0.1%	1,095 100%
	女	250 22.2%	739 65.7%	133 11.8%	3 0.3%	1,125 100%
	無回答	10 40.0%	8 32.0%	5 20.0%	2 8.0%	25 100%
	合計	592 26.4%	1,356 60.4%	291 13.0%	6 0.3%	2,245 100%
中学生	男	766 35.1%	1,094 50.1%	311 14.2%	12 0.5%	2,183 100%
	女	693 32.2%	1,200 55.7%	248 11.5%	13 0.6%	2,154 100%
	無回答	20 35.1%	29 50.9%	7 12.3%	1 1.8%	57 100%
	合計	1,479 33.7%	2,323 52.9%	566 12.9%	26 0.6%	4,394 100%
高校生	男	1,058 48.0%	988 44.8%	154 7.0%	4 0.2%	2,204 100%
	女	1,054 46.4%	1,118 49.3%	97 4.3%	1 0.0%	2,270 100%
	無回答	40 47.6%	40 47.6%	4 4.8%		84 100%
	合計	2,152 47.2%	2,146 47.1%	255 5.6%	5 0.1%	4,558 100%

小中高の間２－３．万引と、未成年者の喫煙を比べると

		万引のほうが悪い	同じくらい悪い	喫煙のほうが悪い	無回答	合計
小学生	男	145 13.2%	671 61.3%	278 25.4%	1 0.1%	1,095 100%
	女	99 8.8%	803 71.4%	221 19.6%	2 0.2%	1,125 100%
	無回答	7 28.0%	14 56.0%	4 16.0%	0.0%	25 100%
	合計	251 11.2%	1,488 66.3%	503 22.4%	3 0.1%	2,245 100%
中学生	男	511 23.4%	1,218 55.8%	446 20.4%	8 0.4%	2,183 100%
	女	405 18.8%	1,350 62.7%	384 17.8%	15 0.7%	2,154 100%
	無回答	14 24.6%	35 61.4%	7 12.3%	1 1.8%	57 100%
	合計	930 21.2%	2,603 59.2%	837 19.0%	24 0.5%	4,394 100%
高校生	男	742 33.7%	1,173 53.2%	286 13.0%	3 0.1%	2,204 100%
	女	668 29.4%	1,419 62.5%	180 7.9%	3 0.1%	2,270 100%
	無回答	31 36.9%	45 53.6%	8 9.5%	0.0%	84 100%
	合計	1,441 31.6%	2,637 57.9%	474 10.4%	6 0.1%	4,558 100%

小中高の間２－４．万引と、いじめを比べると

		万引のほうが悪い	同じくらい悪い	いじめのほうが悪い	無回答	合計
小学生	男	186 17.0%	642 58.6%	264 24.1%	3 0.3%	1,095 100%
	女	140 12.4%	747 66.4%	236 21.0%	2 0.2%	1,125 100%
	無回答	5 20.0%	16 64.0%	4 16.0%	0.0%	25 100%
	合計	331 14.7%	1,405 62.6%	504 22.4%	5 0.2%	2,245 100%
中学生	男	321 14.7%	1,091 50.0%	763 35.0%	8 0.4%	2,183 100%
	女	247 11.5%	1,242 57.7%	649 30.1%	16 0.7%	2,154 100%
	無回答	10 17.5%	33 57.9%	13 22.8%	1 1.8%	57 100%
	合計	578 13.2%	2,366 53.8%	1,425 32.4%	25 0.6%	4,394 100%
高校生	男	208 9.4%	1,138 51.6%	854 38.7%	4 0.2%	2,204 100%
	女	162 7.1%	1,509 66.5%	592 26.1%	7 0.3%	2,270 100%
	無回答	9 10.7%	50 59.5%	25 29.8%	0.0%	84 100%
	合計	379 8.3%	2,697 59.2%	1,471 32.3%	11 0.2%	4,558 100%

小中高の２－５．万引と公共の建物の壁や塀に落書をするを比べると

		万引のほうが悪い	同じくらい悪い	落書きのほうが悪い	無回答	合計
小学生	男	296 27.0%	692 63.2%	94 8.6%	13 1.2%	1,095 100%
	女	225 20.0%	840 74.7%	54 4.8%	6 0.5%	1,125 100%
	無回答	6 24.0%	17 68.0%	0.0%	2 8.0%	25 100%
	合計	527 23.5%	1,549 69.0%	148 6.6%	21 0.9%	2,245 100%
中学生	男	687 31.5%	1,282 58.7%	204 9.3%	10 0.5%	2,183 100%
	女	580 26.9%	1,449 67.3%	108 5.0%	17 0.8%	2,154 100%
	無回答	19 33.3%	34 59.6%	3 5.3%	1 1.8%	57 100%
	合計	1,286 29.3%	2,765 62.9%	315 7.2%	28 0.6%	4,394 100%
高校生	男	660 29.9%	1,380 62.6%	161 7.3%	3 0.1%	2,204 100%
	女	565 24.9%	1,638 72.2%	61 2.7%	6 0.3%	2,270 100%
	無回答	23 27.4%	54 64.3%	7 8.3%	0.0%	84 100%
	合計	1,248 27.4%	3,072 67.4%	229 5.0%	9 0.2%	4,558 100%

小中高の間２－６．万引と、人に暴力をふるうことを比べると

		万引のほうが悪い	同じくらい悪い	暴力のほうが悪い	無回答	合計
小学生	男	117 10.7%	665 60.7%	297 27.1%	16 1.5%	1,095 100%
	女	55 4.9%	756 67.2%	306 27.2%	8 0.7%	1,125 100%
	無回答	3 12.0%	18 72.0%	2 8.0%	2 8.0%	25 100%
	合計	175 7.8%	1,439 64.1%	605 26.9%	26 1.2%	2,245 100%
中学生	男	335 15.3%	1,185 54.3%	653 29.9%	10 0.5%	2,183 100%
	女	187 8.7%	1,301 60.4%	652 30.3%	14 0.6%	2,154 100%
	無回答	9 15.8%	37 64.9%	10 17.5%	1 1.8%	57 100%
	合計	531 12.1%	2,523 57.4%	1,315 29.9%	25 0.6%	4,394 100%
高校生	男	234 10.6%	1,233 55.9%	735 33.3%	2 0.1%	2,204 100%
	女	105 4.6%	1,534 67.6%	628 27.7%	3 0.1%	2,270 100%
	無回答	11 13.1%	50 59.5%	23 27.4%	0.0%	84 100%
	合計	350 7.7%	2,817 61.8%	1,386 30.4%	5 0.1%	4,558 100%

小中高の間3. 万引をしてはいけない理由として、あなたが一番もっともだと思う理由をひとつだけ選んでください。

		保護者や先生がいけないこと と言っているから	つかまると損だから	ばれるとカッコ悪いから	法律を破ってはいけないから	みんながやると商売が成り 立たなくなるから	誰が何と言おうと悪いこと は悪いから	保護者が悲しむから	無回答	合計
小学生	男	105 9.6%	51 4.7%	3 0.3%	397 36.3%	68 6.2%	307 28.0%	159 14.5%	5 0.5%	1,095 100%
	女	90 8.0%	17 1.5%	4 0.4%	390 34.7%	80 7.1%	377 33.5%	164 14.6%	3 0.3%	1,125 100%
	無回答	2 8.0%	2 8.0%	0 0.0%	8 32.0%	3 12.0%	8 32.0%	2 8.0%	0 0.0%	25 100%
	合計	197 8.8%	70 3.1%	7 0.3%	795 35.4%	151 6.7%	692 30.8%	325 14.5%	8 0.4%	2,245 100%
中学生	男	112 5.1%	156 7.1%	17 0.8%	638 29.2%	303 13.9%	706 32.3%	220 10.1%	31 1.4%	2,183 100%
	女	97 4.5%	90 4.2%	8 0.4%	527 24.5%	248 11.5%	930 43.2%	231 10.7%	23 1.1%	2,154 100%
	無回答	2 3.5%	5 8.8%	0 0.0%	11 19.3%	9 15.8%	21 36.8%	8 14.0%	1 1.8%	57 100%
	合計	211 4.8%	251 5.7%	25 0.6%	1,176 26.8%	560 12.7%	1,657 37.7%	459 10.4%	55 1.3%	4,394 100%
高校生	男	43 2.0%	159 7.2%	14 0.6%	617 28.0%	437 19.8%	760 34.5%	154 7.0%	20 0.9%	2,204 100%
	女	23 1.0%	90 4.0%	10 0.4%	600 26.4%	415 18.3%	975 43.0%	136 6.0%	21 0.9%	2,270 100%
	無回答	1 1.2%	5 6.0%	1 1.2%	28 33.3%	16 19.0%	27 32.1%	6 7.1%	0 0.0%	84 100%
	合計	67 1.5%	254 5.6%	25 0.5%	1,245 27.3%	868 19.0%	1,762 38.7%	296 6.5%	41 0.9%	4,558 100%

小中高の間4. 子どもが万引をするのはなぜだと思いますか。ひとつだけ選んでください。

		どきどきして楽しいから	自分もものをとられたことがあるから	やらないと仲間外れにされるから	みんながやっているから	店をたいして損をしないから	それほど悪いことではないから	無回答	合計
小学生	男	214 19.5%	123 11.2%	367 33.5%	136 12.4%	50 4.6%	124 11.3%	81 7.4%	1,095 100%
	女	210 18.7%	81 7.2%	463 41.2%	141 12.5%	37 3.3%	113 10.0%	80 7.1%	1,125 100%
	無回答	7 28.0%	2 8.0%	9 36.0%	3 12.0%	0 0.0%	1 4.0%	3 12.0%	25 100%
	合計	431 19.2%	206 9.2%	839 37.4%	280 12.5%	87 3.9%	238 10.6%	164 7.3%	2,245 100%
中学生	男	648 29.7%	98 4.5%	628 28.8%	347 15.9%	145 6.6%	209 9.6%	108 4.9%	2,183 100%
	女	548 25.4%	71 3.3%	890 41.3%	269 12.5%	68 3.2%	213 9.9%	95 4.4%	2,154 100%
	無回答	13 22.8%	4 7.0%	20 35.1%	8 14.0%	2 3.5%	6 10.5%	4 7.0%	57 100%
	合計	1,209 27.5%	173 3.9%	1,538 35.0%	624 14.2%	215 4.9%	428 9.7%	207 4.7%	4,394 100%
高校生	男	703 31.9%	93 4.2%	478 21.7%	447 20.3%	115 5.2%	293 13.3%	75 3.4%	2,204 100%
	女	583 25.7%	58 2.6%	824 36.3%	412 18.1%	75 3.3%	254 11.2%	64 2.8%	2,270 100%
	無回答	23 27.4%	4 4.8%	23 27.4%	18 21.4%	2 2.4%	11 13.1%	3 3.6%	84 100%
	合計	1,309 28.7%	155 3.4%	1,325 29.1%	877 19.2%	192 4.2%	558 12.2%	142 3.1%	4,558 100%

小中高の間5. この1年の間に、あなたは万引をしようと誘われたことがありますか。

		ある	ない	無回答	合計
小学生	男	18 1.6%	1,062 97.0%	15 1.4%	1,095 100%
	女	5 0.4%	1,104 98.1%	16 1.4%	1,125 100%
	無回答	2 8.0%	20 80.0%	3 12.0%	25 100%
	合計	25 1.1%	2,186 97.4%	34 1.5%	2,245 100%
中学生	男	46 2.1%	2,051 94.0%	86 3.9%	2,183 100%
	女	18 0.8%	2,080 96.6%	56 2.6%	2,154 100%
	無回答	1 1.8%	51 89.5%	5 8.8%	57 100%
	合計	65 1.5%	4,182 95.2%	147 3.3%	4,394 100%
高校生	男	23 1.0%	2,117 96.1%	64 2.9%	2,204 100%
	女	7 0.3%	2,227 98.1%	36 1.6%	2,270 100%
	無回答	0.0%	83 98.8%	1 1.2%	84 100%
	合計	30 0.7%	4,427 97.1%	101 2.2%	4,558 100%

小中高の間5で、万引に誘われたことが「ある」と回答した学校地域別の率。太字は中央値。
学校地域番号は小中高それぞれの多い順の順序番号で、同じ番号の小中高は同じ地域ではない。

学校地域	小学生	中学生	高校生
1	12.50%	10.10%	4.00%
2	4.00%	7.14%	2.65%
3	3.64%	4.30%	2.30%
4	3.45%	3.60%	2.11%
5	3.33%	3.42%	1.98%
6	2.86%	3.19%	1.87%
7	2.78%	2.13%	1.82%
8	2.00%	2.11%	1.77%
9	2.00%	1.98%	1.71%
10	1.96%	1.92%	1.35%
11	1.92%	1.92%	1.05%
12	1.85%	1.89%	1.00%
13	1.79%	1.74%	0.96%
14	1.61%	1.65%	0.94%
15	1.56%	1.33%	0.91%
16	1.54%	1.18%	0.86%
17	1.45%	1.12%	0.85%
18	0.00%	1.09%	0.84%
19	0.00%	1.08%	0.00%
20	0.00%	1.03%	0.00%
21	0.00%	1.01%	0.00%
22	0.00%	1.00%	0.00%
23	0.00%	1.00%	0.00%
24	0.00%	0.99%	0.00%
25	0.00%	0.98%	0.00%
26	0.00%	0.98%	0.00%
27	0.00%	0.97%	0.00%
28	0.00%	0.93%	0.00%
29	0.00%	0.93%	0.00%
30	0.00%	0.89%	0.00%
31	0.00%	0.00%	0.00%
32	0.00%	0.00%	0.00%
33	0.00%	0.00%	0.00%
34	0.00%	0.00%	0.00%
35	0.00%	0.00%	0.00%
36	0.00%	0.00%	0.00%
37	0.00%	0.00%	0.00%
38	0.00%	0.00%	0.00%
39	0.00%	0.00%	0.00%
40	0.00%	0.00%	0.00%
41	0.00%	0.00%	0.00%
42		0.00%	0.00%
43		0.00%	0.00%

小中高の間6. 友達から万引をしようと誘われたら、あなたはどのようにしますか。
あなたの気持ちに一番近いものを、ひとつだけ選んでください。

		断れないので、仲間に 入る	あいまいな態度で無視 する	はっきり断る	はっきり断り、万引は犯 罪である并注意する	無回答	合計
小学生	男	6 0.5%	90 8.2%	238 21.7%	757 69.1%	4 0.4%	1,095 100%
	女	4 0.4%	55 4.9%	172 15.3%	889 79.0%	5 0.4%	1,125 100%
	無回答	0.0%	1 4.0%	10 40.0%	14 56.0%	0.0%	25 100%
	合計	10 0.4%	146 6.5%	420 18.7%	1,660 73.9%	9 0.4%	2,245 100%
中学生	男	37 1.7%	417 19.1%	805 36.9%	887 40.6%	37 1.7%	2,183 100%
	女	12 0.6%	382 17.7%	744 34.5%	993 46.1%	23 1.1%	2,154 100%
	無回答	0.0%	11 19.3%	27 47.4%	17 29.8%	2 3.5%	57 100%
	合計	49 1.1%	810 18.4%	1,576 35.9%	1,897 43.2%	62 1.4%	4,394 100%
高校生	男	20 0.9%	445 20.2%	1,019 46.2%	700 31.8%	20 0.9%	2,204 100%
	女	7 0.3%	424 18.7%	996 43.9%	826 36.4%	17 0.7%	2,270 100%
	無回答	0.0%	23 27.4%	33 39.3%	27 32.1%	1 1.2%	84 100%
	合計	27 0.6%	892 19.6%	2,048 44.9%	1,553 34.1%	38 0.8%	4,558 100%

小の間7、中高の間10. 保護者は子どもが万引などの犯罪行為をしないようにするために、子供とどのように接すればいいと思いますか。ひとつだけ選んでください。

		子どもが間違ったことをしたら厳しく注意する	何でも子どもがほしがらるものを買い与える	子どもを一人前の大人としてあつかう	ものごとの善悪について子どもとよく話すようにする	無回答	合計
小学生	男	559 51.1%	31 2.8%	51 4.7%	419 38.3%	35 3.2%	1,095 100%
	女	516 45.9%	13 1.2%	31 2.8%	529 47.0%	36 3.2%	1,125 100%
	無回答	9 36.0%	0.0%	1 4.0%	14 56.0%	1 4.0%	25 100%
	合計	1,084 48.3%	44 2.0%	83 3.7%	962 42.9%	72 3.2%	2,245 100%
中学生	男	863 39.5%	55 2.5%	161 7.4%	1,067 48.9%	37 1.7%	2,183 100%
	女	892 41.4%	19 0.9%	115 5.3%	1,102 51.2%	26 1.2%	2,154 100%
	無回答	22 38.6%	0.0%	3 5.3%	30 52.6%	2 3.5%	57 100%
	合計	1,777 40.4%	74 1.7%	279 6.3%	2,199 50.0%	65 1.5%	4,394 100%
高校生	男	899 40.8%	33 1.5%	133 6.0%	1,110 50.4%	29 1.3%	2,204 100%
	女	806 35.5%	9 0.4%	124 5.5%	1,309 57.7%	22 1.0%	2,270 100%
	無回答	36 42.9%	2 2.4%	6 7.1%	39 46.4%	1 1.2%	84 100%
	合計	1,741 38.2%	44 1.0%	263 5.8%	2,458 53.9%	52 1.1%	4,558 100%

小の間 8、中高の間 12. あなたは子どもが万引をしなくなるためにはどうすればいいと思いますか。もっとも効果があると思えることをひとつだけ選んでください。

		万引について学校の授業でとりあげる	保護者は子供が万引をしないようにしつける	警察が積極的に取りしまるようにする	万引(窃盗)の刑罰を重くする	テレビで万引に関する番組を放映する	万引しにくい店づくりをする	店は、万引した子供やその保護者から罰金や迷惑料などをする	中古品を買い取る店は、万引した商品かどうかをきちんと確認する	無回答	合計
小学生	男	258 23.6%	194 17.7%	141 12.9%	168 15.3%	97 8.9%	140 12.8%	54 4.9%	22 2.0%	21 1.9%	1,095 100%
	女	392 34.8%	166 14.8%	121 10.8%	83 7.4%	89 7.9%	181 16.1%	46 4.1%	23 2.0%	24 2.1%	1,125 100%
	無回答	6 24.0%	3 12.0%	3 12.0%	3 12.0%	5 20.0%	1 4.0%	2 8.0%	2 8.0%	0.0%	25 100%
	合計	656 29.2%	363 16.2%	265 11.8%	254 11.3%	191 8.5%	322 14.3%	102 4.5%	47 2.1%	45 2.0%	2,245 100%
中学生	男	587 26.9%	356 16.3%	201 9.2%	363 16.6%	117 5.4%	445 20.4%	62 2.8%	17 0.8%	35 1.6%	2,183 100%
	女	630 29.2%	382 17.7%	142 6.6%	225 10.4%	131 6.1%	520 24.1%	68 3.2%	26 1.2%	30 1.4%	2,154 100%
	無回答	18 31.6%	8 14.0%	3 5.3%	7 12.3%	3 5.3%	15 26.3%	2 3.5%	0.0%	1 1.8%	57 100%
	合計	1,235 28.1%	746 17.0%	346 7.9%	595 13.5%	251 5.7%	980 22.3%	132 3.0%	43 1.0%	66 1.5%	4,394 100%
高校生	男	491 22.3%	501 22.7%	191 8.7%	366 16.6%	87 3.9%	449 20.4%	78 3.5%	16 0.7%	25 1.1%	2,204 100%
	女	636 28.0%	504 22.2%	116 5.1%	330 14.5%	123 5.4%	456 20.1%	69 3.0%	8 0.4%	28 1.2%	2,270 100%
	無回答	16 19.0%	19 22.6%	8 9.5%	11 13.1%	5 6.0%	17 20.2%	4 4.8%	3 3.6%	1 1.2%	84 100%
	合計	1,143 25.1%	1,024 22.5%	315 6.9%	707 15.5%	215 4.7%	922 20.2%	151 3.3%	27 0.6%	54 1.2%	4,558 100%

小の間 9、中高の間 15. あなたは次の間 9（1 5）－ 1 ～ 6 のことがらについて、どのように思っていますか。それぞれ次の数字（1 ～ 4）からひとつだけ選んでください。

小の間9-1、中高の間15-1. 自分にはいろいろと良いところがある

		そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	無回答	合計
小学生	男	60 5.5%	253 23.1%	490 44.7%	280 25.6%	12 1.1%	1,095 100%
	女	44 3.9%	287 25.5%	520 46.2%	267 23.7%	7 0.6%	1,125 100%
	無回答	3 12.0%	3 12.0%	10 40.0%	8 32.0%	1 4.0%	25 100%
	合計	107 4.8%	543 24.2%	1,020 45.4%	555 24.7%	20 0.9%	2,245 100%
中学生	男	120 5.5%	605 27.7%	919 42.1%	511 23.4%	28 1.3%	2,183 100%
	女	145 6.7%	696 32.3%	968 44.9%	326 15.1%	19 0.9%	2,154 100%
	無回答	5 8.8%	11 19.3%	25 43.9%	14 24.6%	2 3.5%	57 100%
	合計	270 6.1%	1,312 29.9%	1,912 43.5%	851 19.4%	49 1.1%	4,394 100%
高校生	男	105 4.8%	603 27.4%	952 43.2%	510 23.1%	34 1.5%	2,204 100%
	女	111 4.9%	822 36.2%	1,012 44.6%	304 13.4%	21 0.9%	2,270 100%
	無回答	6 7.1%	22 26.2%	38 45.2%	16 19.0%	2 2.4%	84 100%
	合計	222 4.9%	1,447 31.7%	2,002 43.9%	830 18.2%	57 1.3%	4,558 100%

小の間 9-2、中高の間 15-2. 自分は家族から大事にされている

		そう思う	少し思う	あまり思わ ない	思わない	無回答	合計
小学生	男	19 1.7%	63 5.8%	235 21.5%	769 70.2%	9 0.8%	1,095 100%
	女	20 1.8%	61 5.4%	230 20.4%	810 72.0%	4 0.4%	1,125 100%
	無回答	0.0%	1 4.0%	8 32.0%	15 60.0%	1 4.0%	25 100%
	合計	39 1.7%	125 5.6%	473 21.1%	1,594 71.0%	14 0.6%	2,245 100%
中学生	男	59 2.7%	181 8.3%	697 31.9%	1,218 55.8%	28 1.3%	2,183 100%
	女	55 2.6%	156 7.2%	628 29.2%	1,302 60.4%	13 0.6%	2,154 100%
	無回答	2 3.5%	3 5.3%	19 33.3%	31 54.4%	2 3.5%	57 100%
	合計	116 2.6%	340 7.7%	1,344 30.6%	2,551 58.1%	43 1.0%	4,394 100%
高校生	男	34 1.5%	163 7.4%	797 36.2%	1,174 53.3%	36 1.6%	2,204 100%
	女	27 1.2%	136 6.0%	724 31.9%	1,364 60.1%	19 0.8%	2,270 100%
	無回答	2 2.4%	5 6.0%	29 34.5%	46 54.8%	2 2.4%	84 100%
	合計	63 1.4%	304 6.7%	1,550 34.0%	2,584 56.7%	57 1.3%	4,558 100%

小の間9-3. 中高の間15-3. 学校に行くことが好きである

		そう思う	少し思う	あまり思わ ない	思わない	無回答	合計
小学生	男	85 7.8%	118 10.8%	375 34.2%	504 46.0%	13 1.2%	1,095 100%
	女	44 3.9%	112 10.0%	362 32.2%	602 53.5%	5 0.4%	1,125 100%
	無回答	0.0%	3 12.0%	9 36.0%	12 48.0%	1 4.0%	25 100%
	合計	129 5.7%	233 10.4%	746 33.2%	1,118 49.8%	19 0.8%	2,245 100%
中学生	男	128 5.9%	290 13.3%	732 33.5%	999 45.8%	34 1.6%	2,183 100%
	女	149 6.9%	294 13.6%	693 32.2%	1,006 46.7%	12 0.6%	2,154 100%
	無回答	3 5.3%	3 5.3%	21 36.8%	29 50.9%	1 1.8%	57 100%
	合計	280 6.4%	587 13.4%	1,446 32.9%	2,034 46.3%	47 1.1%	4,394 100%
高校生	男	127 5.8%	347 15.7%	858 38.9%	835 37.9%	37 1.7%	2,204 100%
	女	138 6.1%	377 16.6%	913 40.2%	824 36.3%	18 0.8%	2,270 100%
	無回答	4 4.8%	12 14.3%	38 45.2%	28 33.3%	2 2.4%	84 100%
	合計	269 5.9%	736 16.1%	1,809 39.7%	1,687 37.0%	57 1.3%	4,558 100%

小の間9-4. 中高の間15-4. 友達とは楽しく過ごしている

		そう思う	少し思う	あまり思わ ない	思わない	無回答	合計
小学生	男	8 0.7%	32 2.9%	173 15.8%	870 79.5%	12 1.1%	1,095 100%
	女	11 1.0%	38 3.4%	209 18.6%	864 76.8%	3 0.3%	1,125 100%
	無回答	1 4.0%	0 0.0%	3 12.0%	20 80.0%	1 4.0%	25 100%
	合計	20 0.9%	70 3.1%	385 17.1%	1,754 78.1%	16 0.7%	2,245 100%
中学生	男	26 1.2%	70 3.2%	506 23.2%	1,551 71.0%	30 1.4%	2,183 100%
	女	31 1.4%	83 3.9%	523 24.3%	1,506 69.9%	11 0.5%	2,154 100%
	無回答	2 3.5%	1 1.8%	13 22.8%	40 70.2%	1 1.8%	57 100%
	合計	59 1.3%	154 3.5%	1,042 23.7%	3,097 70.5%	42 1.0%	4,394 100%
高校生	男	24 1.1%	95 4.3%	649 29.4%	1,400 63.5%	36 1.6%	2,204 100%
	女	23 1.0%	96 4.2%	698 30.7%	1,437 63.3%	16 0.7%	2,270 100%
	無回答	1 1.2%	1 1.2%	27 32.1%	53 63.1%	2 2.4%	84 100%
	合計	48 1.1%	192 4.2%	1,374 30.1%	2,890 63.4%	54 1.2%	4,558 100%

小の間 9-5. 中高の間 15-5. 校外での活動を楽しんでいる

		そう思う	少し思う	あまり思わ ない	思わない	無回答	合計
小学生	男	29 2.6%	57 5.2%	241 22.0%	753 68.8%	15 1.4%	1,095 100%
	女	20 1.8%	64 5.7%	287 25.5%	745 66.2%	9 0.8%	1,125 100%
	無回答	1 4.0%	1 4.0%	5 20.0%	17 68.0%	1 4.0%	25 100%
	合計	50 2.2%	122 5.4%	533 23.7%	1,515 67.5%	25 1.1%	2,245 100%
中学生	男	62 2.8%	171 7.8%	614 28.1%	1,305 59.8%	31 1.4%	2,183 100%
	女	60 2.8%	200 9.3%	600 27.9%	1,282 59.5%	12 0.6%	2,154 100%
	無回答	3 5.3%	3 5.3%	21 36.8%	29 50.9%	1 1.8%	57 100%
	合計	125 2.8%	374 8.5%	1,235 28.1%	2,616 59.5%	44 1.0%	4,394 100%
高校生	男	63 2.9%	248 11.3%	755 34.3%	1,099 49.9%	39 1.8%	2,204 100%
	女	58 2.6%	273 12.0%	872 38.4%	1,046 46.1%	21 0.9%	2,270 100%
	無回答	2 2.4%	9 10.7%	33 39.3%	38 45.2%	2 2.4%	84 100%
	合計	123 2.7%	530 11.6%	1,660 36.4%	2,183 47.9%	62 1.4%	4,558 100%

小の間9-6、中高の間15-6. 近所の人とは必ずあいさつをする

		そう思う	少し思う	あまり思わ ない	思わない	無回答	合計
小学生	男	34 3.1%	123 11.2%	406 37.1%	523 47.8%	9 0.8%	1,095 100%
	女	17 1.5%	100 8.9%	440 39.1%	565 50.2%	3 0.3%	1,125 100%
	無回答	0.0%	5 20.0%	12 48.0%	7 28.0%	1 4.0%	25 100%
	合計	51 2.3%	228 10.2%	858 38.2%	1,095 48.8%	13 0.6%	2,245 100%
中学生	男	80 3.7%	274 12.6%	909 41.6%	892 40.9%	28 1.3%	2,183 100%
	女	69 3.2%	265 12.3%	975 45.3%	835 38.8%	10 0.5%	2,154 100%
	無回答	2 3.5%	11 19.3%	30 52.6%	13 22.8%	1 1.8%	57 100%
	合計	151 3.4%	550 12.5%	1,914 43.6%	1,740 39.6%	39 0.9%	4,394 100%
高校生	男	88 4.0%	374 17.0%	956 43.4%	750 34.0%	36 1.6%	2,204 100%
	女	73 3.2%	359 15.8%	1,073 47.3%	749 33.0%	16 0.7%	2,270 100%
	無回答	2 2.4%	19 22.6%	36 42.9%	25 29.8%	2 2.4%	84 100%
	合計	163 3.6%	752 16.5%	2,065 45.3%	1,524 33.4%	54 1.2%	4,558 100%

小の間 9、中高の間 15. 6 項目間の順位相関表

小学生		自分には いろいろと 良いところ がある	自分は家 族から大 事にされて いる	学校に行く ことが好き である	友達とは 楽しく過ご している	校外での 活動を楽し んでいる	近所の人 とはかなら ずあいさつ をする
自分にはいろいろ と良いところがある	相関係数 度数	1.000 2225	.413** 2221	.326** 2216	.261** 2218	.301** 2211	.287** 2222
自分は家族から大 事にされている	相関係数 度数	.413** 2221	1.000 2231	.291** 2222	.348** 2224	.290** 2217	.234** 2228
学校に行くことが好 きである	相関係数 度数	.326** 2216	.291** 2222	1.000 2226	.390** 2221	.362** 2213	.299** 2225
友達とは楽しく過ご している	相関係数 度数	.261** 2218	.348** 2224	.390** 2221	1.000 2229	.346** 2215	.185** 2227
校外での活動を楽し んでいる	相関係数 度数	.301** 2211	.290** 2217	.362** 2213	.346** 2215	1.000 2220	.255** 2219
近所の人とはかな らずあいさつをする	相関係数 度数	.287** 2222	.234** 2228	.299** 2225	.185** 2227	.255** 2219	1.000 2232
平均	相関係数 度数	.705** 2225	.601** 2231	.704** 2226	.541** 2229	.601** 2220	.582** 2232

**、相関係数は 1% 水準で有意（両側）

中学生		自分には いろいろと 良いところ がある	自分は家 族から大 事にされて いる	学校に行く ことが好き である	友達とは 楽しく過ご している	校外での 活動を楽し んでいる	近所の人 とはかなら ずあいさつ をする
自分にはいろいろ と良いところがある	相関係数 度数	1.000 4345	.395** 4341	.352** 4335	.286** 4338	.341** 4337	.251** 4340
自分は家族から大 事にされている	相関係数 度数	.395** 4341	1.000 4351	.320** 4343	.326** 4347	.313** 4346	.211** 4349
学校に行くことが好 きである	相関係数 度数	.352** 4335	.320** 4343	1.000 4347	.547** 4345	.493** 4343	.277** 4346
友達とは楽しく過ご している	相関係数 度数	.286** 4338	.326** 4347	.547** 4345	1.000 4352	.521** 4347	.224** 4351
校外での活動を楽し んでいる	相関係数 度数	.341** 4337	.313** 4346	.493** 4343	.521** 4347	1.000 4350	.310** 4350
近所の人とはかな らずあいさつをする	相関係数 度数	.251** 4340	.211** 4349	.277** 4346	.224** 4351	.310** 4350	1.000 4355
平均	相関係数 度数	.678** 4345	.614** 4351	.746** 4347	.636** 4352	.695** 4350	.564** 4355

**、相関係数は 1% 水準で有意（両側）

高校生		自分には いろいろと 良いところ がある	自分は家 族から大 事にされて いる	学校に行く ことが好き である	友達とは 楽しく過ご している	校外での 活動を楽し んでいる	近所の人 とはかなら ずあいさつ をする
自分にはいろいろ と良いところがある	相関係数 度数	1.000 4501	.369** 4497	.402** 4497	.308** 4499	.348** 4492	.236** 4499
自分は家族から大 事にされている	相関係数 度数	.369** 4497	1.000 4501	.349** 4499	.368** 4500	.321** 4494	.221** 4500
学校に行くことが好 きである	相関係数 度数	.402** 4497	.349** 4499	1.000 4501	.581** 4500	.504** 4493	.277** 4500
友達とは楽しく過ご している	相関係数 度数	.308** 4499	.368** 4500	.581** 4500	1.000 4504	.526** 4495	.262** 4503
校外での活動を楽し んでいる	相関係数 度数	.348** 4492	.321** 4494	.504** 4493	.526** 4495	1.000 4496	.326** 4495
近所の人とはかな らずあいさつをする	相関係数 度数	.236** 4499	.221** 4500	.277** 4500	.262** 4503	.326** 4495	1.000 4504
平均	相関係数 度数	.657** 4501	.607** 4501	.779** 4501	.697** 4504	.728** 4496	.564** 4504

**、相関係数は 1% 水準で有意（両側）

中学生・高校生のみへの共通質問 集計表

中高の間7. あなたがコンビニでアルバイトをしているとして、子供が商品をカバンに入れているのを見たら、どのように対応しますか。ひとつだけ選んでください。

		すぐに店長 に報告する	大声で、その子 供に商品を返 すように言う	その子供に近づい て、小さな声で商品 を返すように言う	だまって 放ってお く	その子供が店 を出てから、つ かまえる	無回 答	合計
中 学 生	男	318 14.6%	150 6.9%	1,207 55.3%	79 3.6%	400 18.3%	29 1.3%	2,183 100%
	女	466 21.6%	90 4.2%	1,364 63.3%	40 1.9%	168 7.8%	26 1.2%	2,154 100%
	無回答	9 15.8%	5 8.8%	32 56.1%	1 1.8%	8 14.0%	2 3.5%	57 100%
	合計	793 18.0%	245 5.6%	2,603 59.2%	120 2.7%	576 13.1%	57 1.3%	4,394 100%
高 校 生	男	344 15.6%	86 3.9%	1,243 56.4%	121 5.5%	390 17.7%	20 0.9%	2,204 100%
	女	657 28.9%	51 2.2%	1,274 56.1%	84 3.7%	185 8.1%	19 0.8%	2,270 100%
	無回答	22 26.2%	3 3.6%	36 42.9%	7 8.3%	15 17.9%	1 1.2%	84 100%
	合計	1,023 22.4%	140 3.1%	2,553 56.0%	212 4.7%	590 12.9%	40 0.9%	4,558 100%

中高の間8. あなたの住んでいる近くで、万引をしやすいと言われている店を知っていますか。ひとつだけ選んでください。

		知っている	知らない	無回答	合計
中 学 生	男	255 11.7%	1,902 87.1%	26 1.2%	2,183 100%
	女	244 11.3%	1,892 87.8%	18 0.8%	2,154 100%
	無回答	3 5.3%	52 91.2%	2 3.5%	57 100%
	合計	502 11.4%	3,846 87.5%	46 1.0%	4,394 100%
高 校 生	男	311 14.1%	1,875 85.1%	18 0.8%	2,204 100%
	女	226 10.0%	2,030 89.4%	14 0.6%	2,270 100%
	無回答	11 13.1%	72 85.7%	1 1.2%	84 100%
	合計	548 12.0%	3,977 87.3%	33 0.7%	4,558 100%

中高の間8-1. 前の問8で「1. 知っている」と答えた人だけに聞きます。それはどういう店ですか。ひとつだけ選んでください。

		スーパー	コンビニ	ドラッグストア・化粧品店	書店・文具店	CD・ゲームソフト点	ホームセンター	雑貨・おもちゃ店	衣料品店	100円ショップ	スポーツ用品店	家電店	デパート	だがし屋	無回答	合計
中学生	男	72 3.3%	37 1.7%	5 0.2%	20 0.9%	7 0.3%	1 0.0%	5 0.2%	1 0.0%	7 0.3%	0.0%	2 0.1%	5 0.2%	90 4.1%	1,931 88.5%	2,183 100%
	女	49 2.3%	27 1.3%	16 0.7%	27 1.3%	3 0.1%	8 0.4%	17 0.8%	1 0.0%	9 0.4%	1 0.0%	1 0.0%	6 0.3%	79 3.7%	1,910 88.7%	2,154 100%
	無回答	2 3.5%	0.0%	0.0%	1 1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54 94.7%	57 100%
	合計	123 2.8%	64 1.5%	21 0.5%	48 1.1%	10 0.2%	9 0.2%	22 0.5%	2 0.0%	16 0.4%	1 0.0%	3 0.1%	11 0.3%	169 3.8%	3,895 88.6%	4,394 100%
高校生	男	91 4.1%	40 1.8%	13 0.6%	27 1.2%	8 0.4%	2 0.1%	12 0.5%	0.0%	7 0.3%	0.0%	2 0.1%	9 0.4%	100 4.5%	1,893 85.9%	2,204 100%
	女	48 2.1%	35 1.5%	23 1.0%	23 1.0%	5 0.2%	3 0.1%	11 0.5%	2 0.1%	2 0.1%	0.0%	1 0.0%	6 0.3%	67 3.0%	2,044 90.0%	2,270 100%
	無回答	5 6.0%	2 2.4%	0.0%	1 1.2%	0.0%	0.0%	1 1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 2.4%	73 86.9%	84 100%
	合計	144 3.2%	77 1.7%	36 0.8%	51 1.1%	13 0.3%	5 0.1%	24 0.5%	2 0.0%	9 0.2%	0.0%	3 0.1%	15 0.3%	169 3.7%	4,010 88.0%	4,558 100%

中高の間9. 万引をした子供を捕まえた店は、警察に通報すべきだと思いますか。

		そう思う	そう思わない	無回答	合計
中学生	男	1,578 72.3%	567 26.0%	38 1.7%	2,183 100%
	女	1,602 74.4%	511 23.7%	41 1.9%	2,154 100%
	無回答	44 77.2%	11 19.3%	2 3.5%	57 100%
	合計	3,224 73.4%	1,089 24.8%	81 1.8%	4,394 100%
高校生	男	1,414 64.2%	765 34.7%	25 1.1%	2,204 100%
	女	1,599 70.4%	641 28.2%	30 1.3%	2,270 100%
	無回答	52 61.9%	30 35.7%	2 2.4%	84 100%
	合計	3,065 67.2%	1,436 31.5%	57 1.3%	4,558 100%

中高の間9-1. 前の問9で「2. そう思わない」と答えた人だけに聞きます。その理由をひとつだけ選んでください。

		万引は大した犯罪ではないから	子供なら誰でもやることであり、放っておけばそのうちやめるから	品物は戻るので損害は発生していないから	店にも責任があるから	犯罪者として扱うのは子供の将来を奪うことになるから	かわいそうだから	無回答	合計
中学生	男	4 0.2%	16 0.7%	84 3.8%	71 3.3%	307 14.1%	72 3.3%	1,629 74.6%	2,183 100%
	女	5 0.2%	11 0.5%	49 2.3%	71 3.3%	304 14.1%	55 2.6%	1,659 77.0%	2,154 100%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1 1.8%	8 14.0%	0.0%	48 84.2%	57 100%
	合計	9 0.2%	27 0.6%	133 3.0%	143 3.3%	619 14.1%	127 2.9%	3,336 75.9%	4,394 100%
高校生	男	5 0.2%	29 1.3%	72 3.3%	96 4.4%	466 21.1%	71 3.2%	1,465 66.5%	2,204 100%
	女	5 0.2%	14 0.6%	81 3.6%	69 3.0%	385 17.0%	67 3.0%	1,649 72.6%	2,270 100%
	無回答	0.0%	3 3.6%	0.0%	4 4.8%	17 20.2%	3 3.6%	57 67.9%	84 100%
	合計	10 0.2%	46 1.0%	153 3.4%	169 3.7%	868 19.0%	141 3.1%	3,171 69.6%	4,558 100%

中高の間11. 万引をした子どもやその保護者はどのような償いをすべきだと思いますか。ひとつだけ選んでください。

		万引は大した犯罪ではないので、その場で謝罪すればよい	万引をしようとした商品を買えばよい	商品を買って取り返さず、迷惑料などを払うべきである	商品を返して、店の掃除や手伝いなど、店への奉仕をするべきである	商品を返して、ボランティア活動に従事するなど、社会貢献活動をするべきである	特に何かを必要はない	無回答	合計
中学生	男	4 0.2%	16 0.7%	84 3.8%	71 3.3%	307 14.1%	72 3.3%	1,629 74.6%	2,183 100%
	女	5 0.2%	11 0.5%	49 2.3%	71 3.3%	304 14.1%	55 2.6%	1,659 77.0%	2,154 100%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	8 14.0%	0 0.0%	48 84.2%	57 100%
	合計	9 0.2%	27 0.6%	133 3.0%	143 3.3%	619 14.1%	127 2.9%	3,336 75.9%	4,394 100%
高校生	男	5 0.2%	29 1.3%	72 3.3%	96 4.4%	466 21.1%	71 3.2%	1,465 66.5%	2,204 100%
	女	5 0.2%	14 0.6%	81 3.6%	69 3.0%	385 17.0%	67 3.0%	1,649 72.6%	2,270 100%
	無回答	0 0.0%	3 3.6%	0 0.0%	4 4.8%	17 20.2%	3 3.6%	57 67.9%	84 100%
	合計	10 0.2%	46 1.0%	153 3.4%	169 3.7%	868 19.0%	141 3.1%	3,171 69.6%	4,558 100%

中高の間13. 店は万引をさせないための取り組みをしています。この中であなたがもっとも効果的だと思う取り組みをひとつだけ選んでください。

		万引防止ポスターをはるなど、万引対策をしている店であることをアピールしている	積極的な挨拶や声かけをしている	監視カメラやミラーをつけている	万引防止機を設置している	私服警備員が巡回するなどのかん視	マイバッグ(持参した買い物袋)を店内で広げないルール	万引をすべて警察に通報している	無回答	合計
中学生	男	229 10.5%	424 19.4%	681 31.2%	546 25.0%	215 9.8%	12 0.5%	59 2.7%	17 0.8%	2,183 100%
	女	160 7.4%	509 23.6%	509 23.6%	768 35.7%	159 7.4%	10 0.5%	34 1.6%	5 0.2%	2,154 100%
	無回答	3 5.3%	16 28.1%	18 31.6%	13 22.8%	5 8.8%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	57 100%
	合計	392 8.9%	949 21.6%	1,208 27.5%	1,327 30.2%	379 8.6%	23 0.5%	93 2.1%	23 0.5%	4,394 100%
高校生	男	232 10.5%	423 19.2%	610 27.7%	650 29.5%	173 7.8%	8 0.4%	77 3.5%	31 1.4%	2,204 100%
	女	171 7.5%	438 19.3%	515 22.7%	905 39.9%	166 7.3%	10 0.4%	48 2.1%	17 0.7%	2,270 100%
	無回答	7 8.3%	17 20.2%	23 27.4%	21 25.0%	9 10.7%	2 2.4%	4 4.8%	1 1.2%	84 100%
	合計	410 9.0%	878 19.3%	1,148 25.2%	1,576 34.6%	348 7.6%	20 0.4%	129 2.8%	49 1.1%	4,558 100%

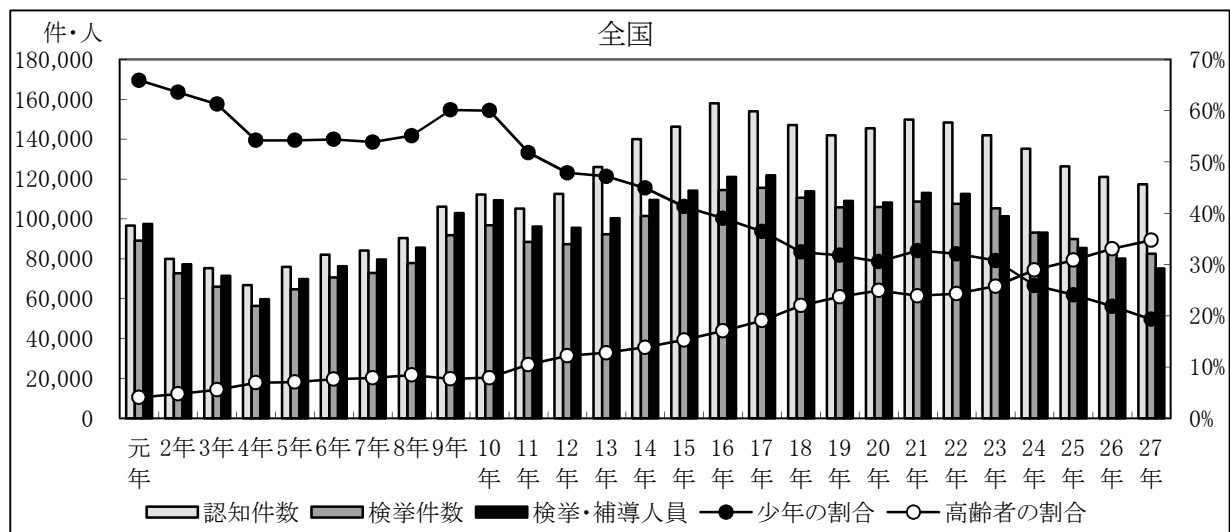
中高の間14. 学校や警察などは、万引防止のための取り組みや制度を整備していますが、この中であなたがもっとも効果的だと思うものをひとつだけ選んでください。

		学校は、生徒に「万引は犯罪であること」を指導し、万引した子どもに対しては万引を繰り返さないための指導をしている	警察は、万引した生徒について、学校に連絡している	本やCDなどの中古品を買い取る店は、中古品を売りに来た18歳未満の者に対して、保護者といっしょに来るように求め、または保護者に電話して確認することを実行している	無回答	合計
中学生	男	1,311 60.1%	545 25.0%	293 13.4%	34 1.6%	2,183 100%
	女	1,414 65.6%	427 19.8%	287 13.3%	26 1.2%	2,154 100%
	無回答	33 57.9%	13 22.8%	8 14.0%	3 5.3%	57 100%
	合計	2,758 62.8%	985 22.4%	588 13.4%	63 1.4%	4,394 100%
高校生	男	1,259 57.1%	688 31.2%	217 9.8%	40 1.8%	2,204 100%
	女	1,352 59.6%	663 29.2%	222 9.8%	33 1.5%	2,270 100%
	無回答	56 66.7%	21 25.0%	6 7.1%	1 1.2%	84 100%
	合計	2,667 58.5%	1,372 30.1%	445 9.8%	74 1.6%	4,558 100%

全国・東京都 万引統計 平成 27 年

全国	元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年	13 年
認知件数	96,662	79,910	75,385	66,852	76,027	82,000	84,131	90,496	106,181	112,237	105,227	112,559	126,110
検挙件数	89,090	72,706	66,082	56,370	64,786	70,600	72,927	77,940	91,870	96,828	88,532	87,366	92,319
検挙・補導人員	97,521	77,198	71,507	59,681	69,946	76,254	79,658	85,670	102,895	109,330	96,256	95,626	100,340
女	49,240	41,373	36,449	30,774	33,607	36,718	38,399	40,852	50,485	51,460	42,835	42,391	45,311
男	48,281	35,825	35,058	28,907	36,339	39,536	41,259	44,818	52,410	57,870	53,421	53,235	55,029
成人	29,238	24,421	23,713	23,165	27,066	28,950	30,454	31,205	33,084	35,044	36,310	38,185	40,143
成人女	17,088	14,412	13,589	12,635	14,109	14,967	15,654	16,015	16,919	17,354	16,814	17,004	17,533
成人男	12,150	10,009	10,124	10,530	12,957	13,983	14,800	15,190	16,165	17,690	19,496	21,181	22,610
成人の割合	30.0%	31.6%	33.2%	38.8%	38.7%	38.0%	38.2%	36.4%	32.2%	32.1%	37.7%	39.9%	40.0%
少年	64,296	49,102	43,815	32,369	37,932	41,488	42,915	47,224	61,890	65,635	49,869	45,790	47,357
少年女	29,950	24,923	20,643	15,928	16,924	18,785	19,610	21,328	29,706	29,891	21,318	19,928	21,645
少年男	34,346	24,179	23,172	16,441	21,008	22,703	23,305	25,896	32,184	35,744	28,551	25,862	25,712
少年の割合	65.9%	63.6%	61.3%	54.2%	54.2%	54.4%	53.9%	55.1%	60.1%	60.0%	51.8%	47.9%	47.2%
高齢者	3,987	3,675	3,979	4,147	4,948	5,816	6,289	7,241	7,921	8,651	10,077	11,651	12,840
高齢者女	2,202	2,038	2,217	2,211	2,574	2,966	3,135	3,509	3,860	4,215	4,703	5,459	6,133
高齢者男	1,785	1,637	1,762	1,936	2,374	2,850	3,154	3,732	4,061	4,436	5,374	6,192	6,707
高齢者の割合	4.1%	4.8%	5.6%	6.9%	7.1%	7.6%	7.9%	8.5%	7.7%	7.9%	10.5%	12.2%	12.8%

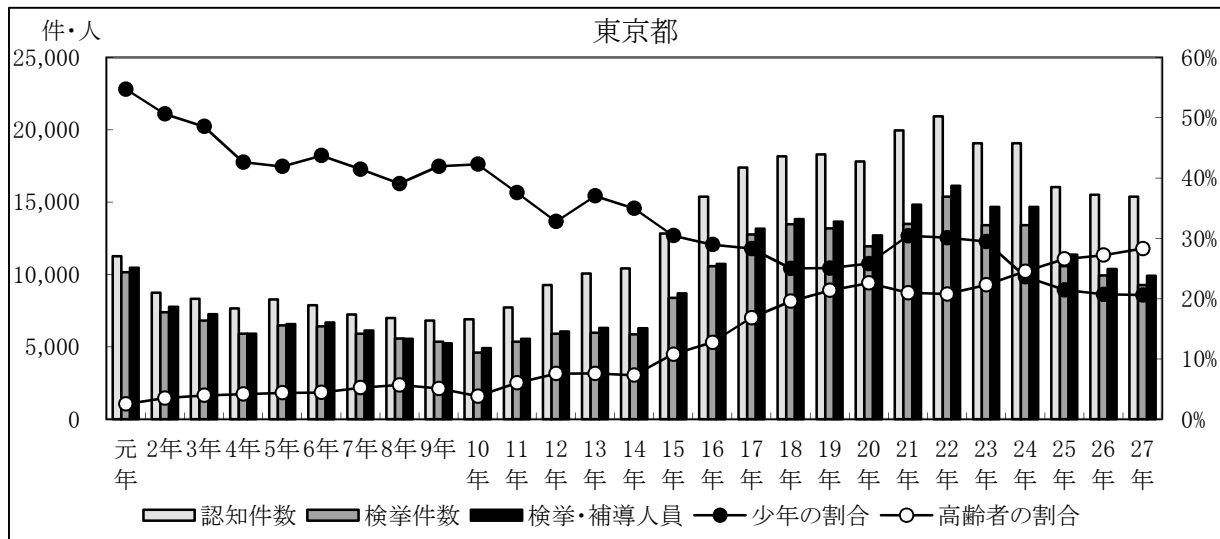
東京都	元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年	13 年
認知件数	11,271	8,747	8,328	7,672	8,287	7,893	7,235	7,004	6,813	6,899	7,718	9,283	10,063
検挙件数	10,150	7,407	6,829	5,924	6,488	6,423	5,907	5,582	5,358	4,611	5,352	5,912	5,974
検挙・補導人員	10,468	7,767	7,256	5,910	6,587	6,699	6,139	5,550	5,257	4,909	5,564	6,078	6,310
女	5,226	4,011	3,511	2,916	3,243	3,182	2,870	2,499	2,368	2,068	2,329	2,537	2,686
男	5,242	3,756	3,745	2,994	3,344	3,517	3,269	3,051	2,889	2,841	3,235	3,541	3,624
成人	4,474	3,563	3,445	3,143	3,538	3,472	3,273	3,065	2,784	2,645	3,136	3,625	3,493
成人女	2,371	1,869	1,743	1,547	1,735	1,629	1,508	1,444	1,319	1,182	1,311	1,549	1,471
成人男	2,103	1,694	1,702	1,596	1,803	1,843	1,765	1,621	1,465	1,463	1,825	2,076	2,022
成人の割合	42.7%	45.9%	47.5%	53.2%	53.7%	51.8%	53.3%	55.2%	53.0%	53.9%	56.4%	59.6%	55.4%
少年	5,728	3,932	3,523	2,520	2,760	2,929	2,545	2,169	2,205	2,076	2,092	1,993	2,337
少年女	2,685	1,968	1,595	1,237	1,351	1,388	1,196	905	911	776	838	716	952
少年男	3,043	1,964	1,928	1,283	1,409	1,541	1,349	1,264	1,294	1,300	1,254	1,277	1,385
少年の割合	54.7%	50.6%	48.6%	42.6%	41.9%	43.7%	41.5%	39.1%	41.9%	42.3%	37.6%	32.8%	37.0%
高齢者	266	272	288	247	289	298	321	316	268	188	336	460	480
高齢者女	170	174	173	132	157	165	166	150	138	110	180	272	263
高齢者男	96	98	115	115	132	133	155	166	130	78	156	188	217
高齢者の割合	2.5%	3.5%	4.0%	4.2%	4.4%	4.4%	5.2%	5.7%	5.1%	3.8%	6.0%	7.6%	7.6%



全国・東京都 万引統計 平成 27 年

14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	全国
140,002	146,308	158,020	153,972	147,113	141,915	145,429	149,892	148,371	141,931	135,224	126,386	121,143	117,333	認知件数
101,445	106,925	114,465	115,636	110,723	105,774	105,986	108,802	107,684	104,516	93,079	89,910	86,784	82,557	検挙件数
109,522	114,260	121,136	121,914	113,866	108,993	108,307	113,083	112,614	108,838	99,055	90,522	84,893	79,248	検挙・補導人員
48,977	49,782	52,642	52,689	48,688	47,629	45,506	44,578	44,949	41,069	37,840	35,351	32,767	31,040	女
60,545	64,478	68,494	69,225	65,178	61,364	62,801	68,505	67,665	60,271	55,239	50,113	47,329	44,074	男
45,134	49,627	53,204	54,220	51,874	48,464	48,186	49,056	49,078	47,269	44,733	40,751	38,249	36,396	成人
19,624	20,645	22,703	23,431	22,059	20,894	20,326	19,880	20,263	19,394	18,308	16,903	15,854	15,107	成人女
25,510	28,982	30,501	30,789	29,815	27,570	27,860	29,176	28,815	27,875	26,425	23,848	22,395	21,289	成人男
41.2%	43.4%	43.9%	44.5%	45.6%	44.5%	44.5%	43.4%	43.6%	43.4%	45.2%	45.0%	45.1%	45.9%	成人の割合
49,214	47,177	47,265	44,442	36,932	34,675	33,106	37,008	36,174	33,503	25,649	21,818	18,560	15,313	少年
22,174	20,991	20,166	18,124	14,659	14,226	12,448	11,946	11,482	10,353	7,480	6,272	4,708	3,630	少年女
27,040	26,186	27,099	26,318	22,273	20,449	20,658	25,062	24,692	23,150	18,169	15,546	13,852	11,683	少年男
44.9%	41.3%	39.0%	36.5%	32.4%	31.8%	30.6%	32.7%	32.1%	30.8%	25.9%	24.1%	21.9%	19.3%	少年の割合
15,174	17,456	20,667	23,252	25,060	25,854	27,015	27,019	27,362	28,066	28,673	27,953	28,084	27,539	高齢者
7,179	8,146	9,773	11,134	11,970	12,509	12,732	12,752	13,204	13,290	13,482	13,379	13,310	13,240	高齢者女
7,995	9,310	10,894	12,118	13,090	13,345	14,283	14,267	14,158	14,776	15,191	14,574	14,774	14,299	高齢者男
13.9%	15.3%	17.1%	19.1%	22.0%	23.7%	24.9%	23.9%	24.3%	25.8%	28.9%	30.9%	33.1%	34.8%	高齢者の割合

14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	東京都
10,423	12,842	15,386	17,395	18,166	18,297	17,816	19,955	20,929	19,079	17,915	16,043	15,506	15,371	認知件数
5,867	8,397	10,572	12,773	13,475	13,197	11,953	13,495	15,374	13,406	12,589	10,582	9,931	9,269	検挙件数
6,296	8,706	10,738	13,173	13,826	13,656	12,695	14,819	16,129	14,668	13,535	11,382	10,391	9,921	検挙・補導人員
2,726	3,846	4,650	5,838	6,081	5,997	5,530	5,821	6,206	5,694	5,278	4,633	4,193	3,837	女
3,570	4,860	6,088	7,335	7,745	7,659	7,165	8,998	9,922	8,974	8,257	6,749	6,198	5,998	男
3,635	5,115	6,258	7,227	7,662	7,317	6,551	7,200	7,923	7,080	7,017	5,915	5,406	5,072	成人
1,539	2,149	2,617	3,179	3,402	3,227	2,888	2,921	3,187	2,880	2,830	2,406	2,213	2,043	成人女
2,096	2,966	3,641	4,048	4,260	4,090	3,663	4,279	4,736	4,200	4,187	3,509	3,193	3,029	成人男
57.7%	58.8%	58.3%	54.9%	55.4%	53.6%	51.6%	48.6%	49.1%	48.3%	51.8%	52.0%	52.0%	51.1%	成人の割合
2,201	2,652	3,110	3,729	3,459	3,421	3,276	4,509	4,857	4,322	3,197	2,442	2,155	2,043	少年
940	1,211	1,317	1,495	1,300	1,287	1,204	1,324	1,404	1,292	946	755	579	492	少年女
1,261	1,441	1,793	2,234	2,159	2,134	2,072	3,185	3,453	3,030	2,251	1,687	1,576	1,551	少年男
35.0%	30.5%	29.0%	28.3%	25.0%	25.1%	25.8%	30.4%	30.1%	29.5%	23.6%	21.5%	20.7%	20.6%	少年の割合
460	939	1,370	2,217	2,705	2,918	2,868	3,110	3,348	3,266	3,321	3,025	2,830	2,806	高齢者
247	486	716	1,164	1,379	1,483	1,438	1,576	1,615	1,522	1,502	1,472	1,401	1,338	高齢者女
213	453	654	1,053	1,326	1,435	1,430	1,534	1,733	1,744	1,819	1,553	1,429	1,418	高齢者男
7.3%	10.8%	12.8%	16.8%	19.6%	21.4%	22.6%	21.0%	20.8%	22.3%	24.5%	26.6%	27.2%	28.3%	高齢者の割合



あとがき

先ずは、本報告書の編集という機会を与えていただいた皆様、とりわけ全国万引犯罪防止機構理事長竹花 豊氏、調査研究委員長加藤和裕氏、事務局長福井 昂氏に心からお礼の言葉を申し上げたい。この調査は今回で 11 回目になるが、その努力を続けてこられた機構に敬意を表するものである。

今回の報告書作成では、質問紙の見直しの段階から坂井昭宏氏（北海道大学・桜美林大学名誉教授）に復帰していただいた。2 年ぶりの共同作業である。報告書のスタイルは昨年と同様に、結果のグラフ表示を中心とし、解釈は基本的に省略している。読者諸氏におかれては、グラフを眺めながら少年期の気持ちについて推論していただきたいと思う。

われわれ大人が目指すのは、青少年が社会的ルールを守って、万引のような逸脱行為をする気持ちにならない社会である。本調査報告書もそのような理想社会を求めるための手立ての一つとしたい。そのためには、青少年が万引に対してどのような態度・意識を持っているかを知るだけでなく、そのような態度や意識がなぜ起こるのかを知る必要がある。それを知るためのヒントが、前回までの生活満足度という指標であり、今回から設けた社会的絆の強弱という指標である。

社会的絆理論（ボンド理論）を提唱したトラヴィス・ハーシは「なぜ人は社会の規則を逸脱するのか」という 20 世紀の社会学的な問いではなく、「なぜ人は社会の規則に従うのか」というホブズ以来の問いに戻って考察し、社会的絆がポイントであるとした。1969 年の著作「非行の原因—家庭・学校・社会へのつながりを求めて」（森田洋司・清水新二監訳、文化書房博文社、1995 年）の序で、ハーシは「非行を犯す者は、親密な対人関係へのつながりや社会的な成功への欲求や道徳的な規範観念によるしほりにあまり捕らわれていない人間であり、ほとんどの人びとを法律にしたがって暮らさせているこれらのしほりから比較的解き放たれている人間であると捉えている」と述べている。そして、多くの実証的分析によって、生活している環境で少年期に獲得した社会的絆が弱い場合に社会的規則からの逸脱が起こりやすいことを示している。

今回の調査結果を眺めると、社会的絆が弱いことと逸脱行為を軽く見る傾向が連関しており、逸脱行為に遭遇する機会も高いことを示している。

その後、社会的絆理論は実証研究の中であてはまる年齢が少年期に限ることが犯罪学の一般的観点から指摘され、ゴットフレッドソンとハーシ (M. Gottfredson and T. Hirschi, *A General Theory of Crime*, Stanford University Press, 1990) は、個人的な特性としての「自己統制（セルフコントロール）」を取り上げるようになった。これは、その時々誘惑に対する脆弱性すなわち、刹那的な行動を自分で抑制できるかどうかの程度をあらわすとされており、自己中心性や欲求不満耐性、非言語的で身体的な行動を起こす特性などからなる概念である。自己統制を測定する尺度も開発されており、非行経験のある少年たちと一般少年との比較では有意な差が見られているようである。

自己統制はその場的・短期的な行動傾向に関連しているため、態度・意識調査として一般少年を対象としている本調査では、自己統制能力が「逸脱行為への寛容な態度」とどのような関係になるかは不明である。自己統制能力が高くても、逸脱行為には寛容な態度であるかもしれないからである。

ハーシは社会的絆と自己統制が同義であると考えていることから、今後の検討課題ではあるが、青少年の意識・態度と社会的絆の関連性はこれからも本調査の重要な関心事になるであろう。

ハーシは、社会的絆・自己統制が少年期に家庭で獲得されるとしており、児童精神医学者ジョン・ボウルビィの愛着理論に対応しているようである。少年期は社会的絆の中核になる家族との絆が育まれる時期である。

社会的絆の弱さを改善するためには、家庭、学校、地域コミュニティなどで少年を巻き込み、愛着心を育む活動が必要である。また、自尊感情を高める教育やカウンセリングなども重要であろう。学校における道德教育などの教育活動を、社会的絆を強める観点から推進することも考慮されてよいのではなかろうか。

警視庁から提供された全国万引統計のグラフを眺めると、万引で検挙補導された人数は平成 16 年にピークとなり、その後は徐々に下がってきている。少年の割合は平成元年から減り続け、逆に高齢者の割合が増え続け、平成 24 年には逆転し、その後は開きが大きくなる一方となっている。人口比を調べても、少年は高齢者よりも少なくなってきたが、その分、一般成人と高齢者の多い状態は続いている。

社会的絆の低下は、少年・一般成人・高齢者の逸脱行為に共通した重要な問題と言える。一般成人を含めた犯罪脆弱者に日本社会で社会的絆を修復する方策をどのように具体化できるかはわからないが、高齢者は、認知能力の低下、家族からの離反、周辺環境からの疎外化などによって、少年期に獲得した社会的絆あるいは自己統制能力が低下してしまう。そのことから、解決の方策も少年と共通することが多いであろう。

さて、調査項目と分析方法の検討課題である。今回の調査で社会的絆の観点からの質問項目はそれなりに成功したと言えるが、質問項目ならびに指標については、より工夫が必要と感じている。分析において、今回は社会的絆の強度を 6 項目の平均を使って強群と弱群の 2 群に分類してみたが、回答者数が十分にあることを利用して、6 項目の個々、あるいは項目の組み合わせなども指標となるかもしれない。

最後になるが、社会的絆の質問項目作成にあたっては、臨床心理学者の友人・森津 誠氏（大阪国際大学名誉教授）から貴重なアドバイスをいただいた。臨床系から遠い位置にあった筆者にとっては心強い支援である。また、かつて北大で筆者の研究室に在籍していた五十嵐真由美氏に原稿の読み手をお願いした。彼女は警視庁少年第一課で少年相談を担当し、現在は東京都公立学校スクールカウンセラーとして活躍している。彼女からの実際的な視点からのコメントが参考になった。お二人に謝意を表したい。

瀧川 哲夫

平成 28 年 5 月 31 日

発行にあたって

第 11 回「万引に関する全国青少年意識調査・分析」を無事に発行できました。

担当いただいた瀧川先生、坂井先生には前回同様、昨年 6 月の第 10 回の報告書発行後、同 10 月以降調査票の内容の見直しから始まり、12 月～今年 4 月の調査票配布・回収・集計・分析と約 9 ヶ月に亘りご苦勞をいただきました。

青少年の将来を考えながら、家庭教育、教育現場、地域社会の中で、大人たちに考えてほしいと願っておられます。

瀧川哲夫先生、坂井昭宏先生に心より敬意を表します。有り難うございました。

平成 28 年 6 月

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構

調査研究委員長 加藤 和裕

事務局長 福井 昂

第 11 回
万引に関する全国青少年意識調査・分析報告書
平成 28 年 6 月発行

特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構
編集 瀧川哲夫（北海道大学名誉教授）
坂井昭宏（北海道大学・桜美林大学名誉教授）

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-2-8 中村ビル
TEL: 03-3355-2322 FAX: 03-3355-2344
URL: <http://www.manboukikou.jp/>

